

ANABAS
audio

マルチプレーヤー

AMS-500

取扱説明書

保証書付

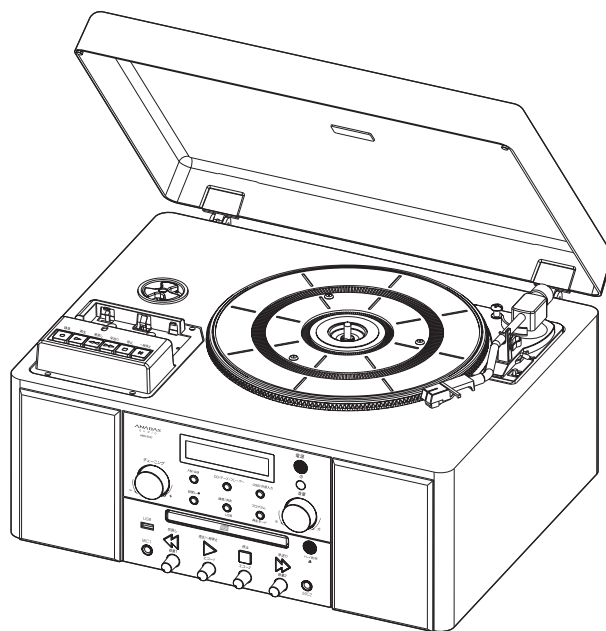
本書の裏表紙に保証書がございますので、
内容をよくご確認ください。

ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後まで
お読みのうえ正しくお使いください。

日本国内専用

FOR USE IN JAPAN ONLY



お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

目次

● 安全上のご注意	2	● 外部入力端子の使い方	26
● 梱包品	4	● レコード取り扱い上のご注意	27
● 各部の名前	5	● レコードの聞き方	28
● お使いになる前の準備	9	● USBメモリーに録音する	29
● 電源を入れる	10	● USBメモリーから音楽ファイルを消去する ..	32
● 基本的な使い方	11	● カセットテープに録音する	33
● 目覚しを使用する	13	● ヘッドホンの使い方	35
● CD取り扱い上のご注意	15	● お手入れ	36
● CDの聞き方	16	● 仕様	36
● USBメモリーの音楽の聞き方	18	● 故障かな?と思ったら	37
● いろいろな聞き方	20	● 保証とアフターサービス	39
● ラジオの聞き方	22	● 保証書	裏表紙
● カセットテープの聞き方	25		

● 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は、次のようになっています。

■【記号の意味】

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
---	---------------------------------	---	--------------------------------

■【本文中に使われている絵表示の意味】

 禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 指示を守る	 プラグを抜く
---	--	---	---	---	--

⚠ 警 告



プラグを
抜く

発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



プラグを
抜く

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



確実に
差し込む

電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。



指示を守る

電源コードのコネクターは、本体の電源コード接続端子に確実に差し込む

差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。本機を移動したりしたときは、差し込部分のゆるみがないかご確認ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。

内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

雷が鳴り出したら、電源コードに触れない

感電の原因となります。



プラグを
抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



禁止

電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

- ・傷つけない
- ・延長するなど加工しない
- ・加熱しない・引っ張らない
- ・重い物を載せない・はさんだりしない
- ・無理に曲げない・ねじらない
- ・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



入れない

機器の上に物を置いたり、ダクトやすき間から異物を入れたりしない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

警告



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁止

次のような場所には置かない

- ・風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
- ・雨、きりなどが直接入り込むような場所
- ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・炎天下の車内・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所
- ・振動の強い場所
- ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
- ・極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
- ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

火災・感電の原因となります。



プラグを
抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



ほこりを
とる

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

注意



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



禁止

ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



禁止

機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

ディスクが回転中は手を触れない

回転中にディスクに触れるとけがの原因となります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



プラグを
抜く

長時間で使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



プラグを
抜く

持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、けがや火災・感電の原因となります。



指示を守る

音量に注意

- ・始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- ・電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



プラグを
抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



指示を守る

電源プラグは容易に手が届くコンセントに接続する

主電源スイッチを切っても電源から完全には遮断されていません。

万一の事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くことができるコンセントに接続してください。

⚠ 注 意



指示を守る

結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する

寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、本機やディスクのピックアップレンズなどに結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このような時は電源プラグを抜き、CDを取り出して、1時間ほどその状態で放置し結露がとれてからご使用ください。



指示を守る

乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

- ・単4形乾電池以外の電池は使用しない
 - ・極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
 - ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
 - ・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
 - ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
 - ・使い切った乾電池は、リモコンから取り出す
 - ・水に濡らしたり、濡れた手で触れない
- 発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。

もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。

器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■著作権について

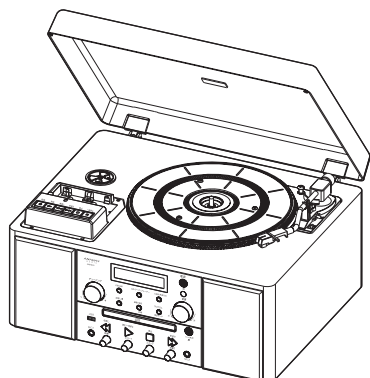
- 音楽、映像などは著作権法により、その著作物および著作権者が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみおこなうことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製、改変などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■録音について

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。

● 梱包品

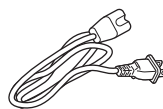
ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お買い求めになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。



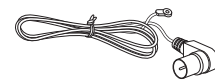
マルチプレーヤー
AMS-500(本機)



ドーナツ盤用
アダプター



電源コード
(約 1.8m)



FM室内アンテナ
(約 1.5m)



リモコン

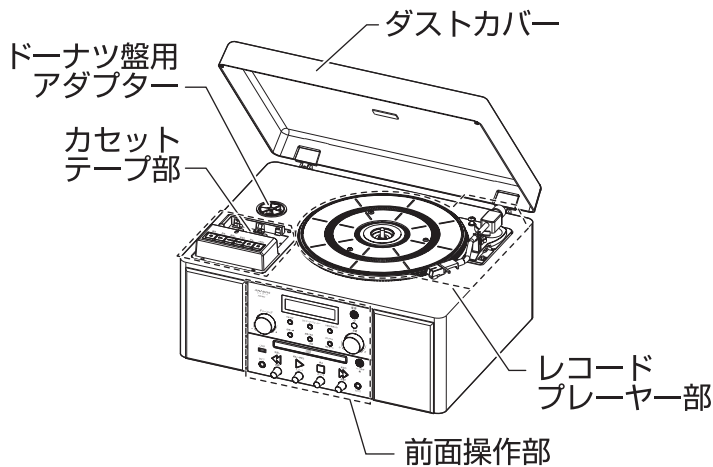


保証書付き取扱説明書
(本書)

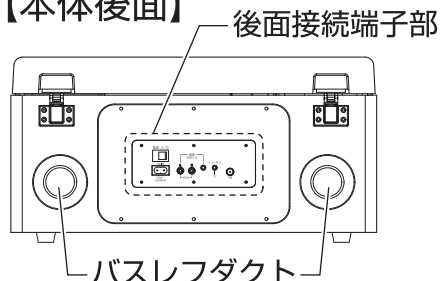
各部の名前

● 本体

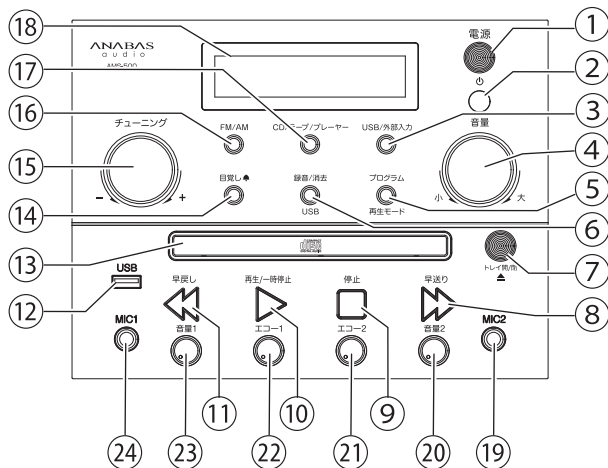
【本体前面・上面】



【本体後面】



■ 前面操作部



① 電源ボタン

本機の電源をオン/オフ(電源待機)にします。

② リモコン受光部

リモコンからの赤外線信号を受けます。

③ USB/外部入力切替ボタン

USBメモリと外部入力機能を切り替えます。

④ 音量ツマミ

スピーカーまたはヘッドホンの音量を調節します。
時計回り(右)に回すと、音が大きくなります。
反時計回り(左)に回すと、音が小さくなります。

⑤ プログラム再生モード ボタン

[CD/USB]

ボタンを押すと現在の再生モードを表示し、さらにボタンを押すたびに再生モードを切り替えます。

ONE → ALL → RAM → NORM

停止中に長押しすると、CD/USBメモリ内の曲をプログラムします。

⑥ 録音/消去 USB ボタン

CD、ラジオ (FM/AM)、外部入力、カセットテープ(テープ)、レコード(プレーヤー)の音楽をUSBメモリに録音します。

長押しすると、USBメモリの曲を削除します。

⑦ ▲トレイ開/閉ボタン

CDトレイの開ける、閉めるをおこないます。

⑧ ►► 早送り ボタン

[CD/USB]

次の曲に移動します。

長く押すと、再生中の曲の早送りになり、手を離すと再生に戻ります。

[FM/AMラジオ]

周波数が高くなります。

長く押すと、連続して周波数が高くなり、受信できる放送局を探します。

[電源待機時]

時刻の設定をおこなうときにボタンを押して項目を選択します。

⑨ ■ 停止 ボタン

[CD/USB]

CD/USBの音楽再生を停止します。

[FMラジオ]

ステレオ放送のAUTO(自動切替)とMONO(モノラル)を切り替えます。

⑩ ► 再生/一時停止 ボタン

[CD/USB]

再生と一時停止を切り替えます。

[電源待機時]

長押しすると、時刻設定モードになります。時刻の設定をおこなっているときに押すと、選択した項目を決定します。

⑪ ◀◀ 早戻し ボタン

[CD/USB]

前の曲に移動します。

長く押すと、再生中の曲の早戻しになり、手を離すと再生に戻ります。

[FM/AMラジオ]

周波数が低くなります。

長く押すと、連続して周波数が低くなり、受信できる放送局を探します。

[電源待機時]

時刻の設定をおこなうときにボタンを押して項目を選択します。

⑫ USBメモリー接続端子

音楽データの入ったUSBメモリーを接続して、再生することができます。

⑬ CDトレイ (CD 挿入口)

ボタンを押して、ここを開けてCDをセットします。

⑭ 目覚まし ● ボタン

[電源待機時]

ボタンを長押しすると、目覚ましの設定状態になります。

目覚ましの設定をおこなっているときに押すと選択した項目を決定します。

目覚しが解除されている時に押すと、前の設定条件で目覚ましを再設定します。

⑮ チューニングツマミ

時計回り(右)に回すと、周波数が高くなります。

反時計回り(左)に回すと、周波数が低くなります。

⑯ FM/AM (ラジオ) 切替ボタン

FMラジオとAMラジオを切り替えます。

⑰ CD/テープ/プレーヤー切替ボタン

CD、カセットテープ、レコードプレーヤー機能を切り替えます。

⑱ 表示部

各機能のそれぞれの状態を表示します。

[電源待機時]

時刻を表示します。

⑲ MIC2 接続端子

市販のΦ6.3mmステレオ標準プラグのカラオケ用などのダイナミックマイクを接続します。

※マイクは付属していません。

※コンデンサーマイクを接続しても本機からは音声は出ません。

⑳ 音量2ツマミ

MIC2接続端子に接続されたマイクの音量を調節します。

時計回り(右)に回すと、マイクからの音が大きくなります。

反時計回り(左)に回すと、マイクからの音が小さくなります。反時計回り(左)に回しきると、マイクからの音声は出ません。

㉑ エコー 2ツマミ

MIC2接続端子に接続されたマイクのエコー量を調節します。

時計回り(右)に回すと、マイクからのエコー量が大きくなります。

反時計回り(左)に回すと、マイクからのエコー量が小さくなります。反時計回り(左)に回しきると、エコーはかかりません。

㉒ エコー 1ツマミ

MIC1接続端子に接続されたマイクのエコー量を調節します。

時計回り(右)に回すと、マイクからのエコー量が大きくなります。

反時計回り(左)に回すと、マイクからのエコー量が小さくなります。反時計回り(左)に回しきると、エコーはかかりません。

㉓ 音量1ツマミ

MIC1接続端子に接続されたマイクの音量を調節します。

時計回り(右)に回すと、マイクからの音が大きくなります。

反時計回り(左)に回すと、マイクからの音が小さくなります。反時計回り(左)に回しきると、マイクからの音声は出ません。

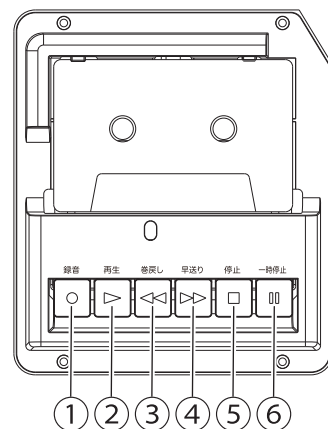
㉔ MIC1 接続端子

市販のΦ6.3mmステレオ標準プラグのカラオケ用などのダイナミックマイクを接続します。

※マイクは付属していません。

※コンデンサーマイクを接続しても本機からは音声は出ません。

■カセットテープ部



① テープ ● (録音) ボタン

カセットテープへ録音します。

※このボタンを押すと▶(再生)ボタンも同時に下がります。

② テープ ▶ (再生) ボタン

カセットテープを再生します。

③ テープ ◀◀ (巻戻し) ボタン

カセットテープを巻き戻しします。

④ テープ ▶▶ (早送り) ボタン

カセットテープを早送りします。

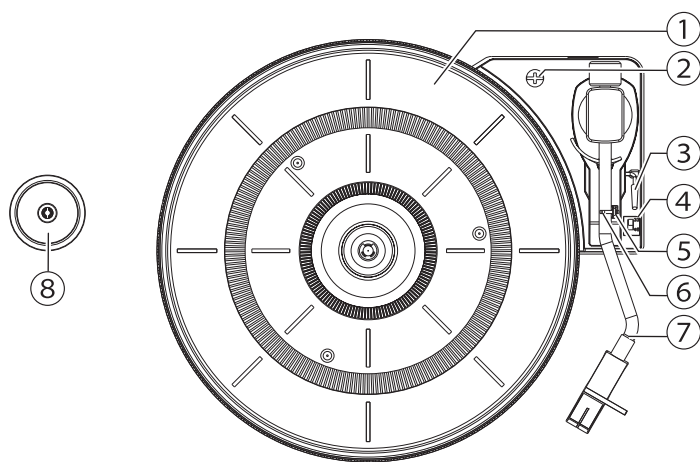
⑤ テープ ■ (停止) ボタン

カセットテープの再生を停止します。

⑥ テープ || (一時停止) ボタン

カセットテープの再生を一時停止します。再度押すと再生を開始します。

■レコードプレーヤー部

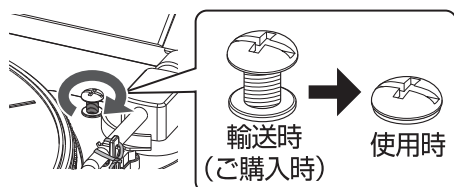


① ターンテーブル

レコードを乗せます。

② 輸送ネジ

本機をお使いになるときは、ドライバーなどを使って、このネジが止まるまで、ネジを時計回り（右）に回します。



引っ越しなどで、本機を輸送するときは、このネジを反時計回り（左）に回し切りネジを固定します。

※輸送ネジを時計回り（右）に回し切り、「使用時」の状態にしたときに、ターンテーブルに触れると揺れますが正常です。これは、スピーカーや周囲からの振動による干渉を低減するためです。

③ キューレバー

このレバーを上げる（後ろ側に倒す）とトーンアームが浮きます。

このレバーを下げる（前側に倒す）とトーンアームがゆっくりと下ります。

※レコードが無い場所またはアームレスト以外で、このレバーを下げるしないでください。レコード針を傷める原因になります。

④ 速度切替ツマミ

ターンテーブルの回転数をレコードで指定された回転数に合わせるツマミです。レコードに表示されている数字にツマミを合わせてください。

⑤ トーンアームレスト

レコードを演奏しないときは、ここにトーンアームを乗せます。

※レコードが無い場所またはアームレスト以外の場所にトーンアームを置くとレコード針を傷める原因になります。

⑥ トーンアームホルダー

トーンアームを固定します。直ぐに演奏を始めないときは、このホルダーでトーンアームを固定してください。

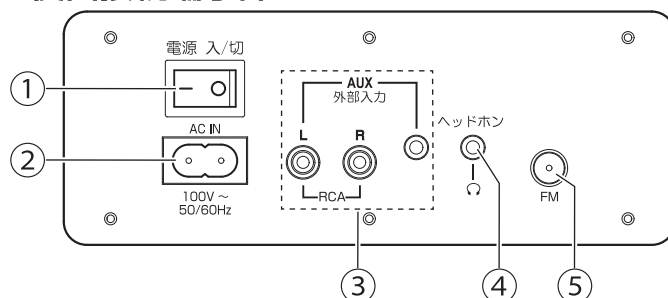
⑦ トーンアーム

レコードの一番端（外側）またはお聞きになりたい位置にトーンアームのレバーを持って移動します。トーンアームを移動すると、ターンテーブルは自動で回り始めます。

⑧ ドーナツ盤用アダプターホルダー

付属のドーナツ盤用アダプターを使わないときは、ここに取り付けてください。

■後面接続端子部



① 主電源（電源入/切）スイッチ

本機の主電源の入・切に使用します。

② 電源コード接続端子

付属の電源コードを差し込みます。

③ AUX 外部入力 端子

テレビやDVDデッキなどの音声出力端子やスマートフォンのヘッドホン端子などを接続して、本機の機能を外部入力（AUX）に切り替えると、本機のスピーカーから接続した機器の音声が出力されます。

※Φ3.5mmステレオ端子接続ケーブル、RCAピンケーブルは付属していません。

④ ヘッドホン接続端子

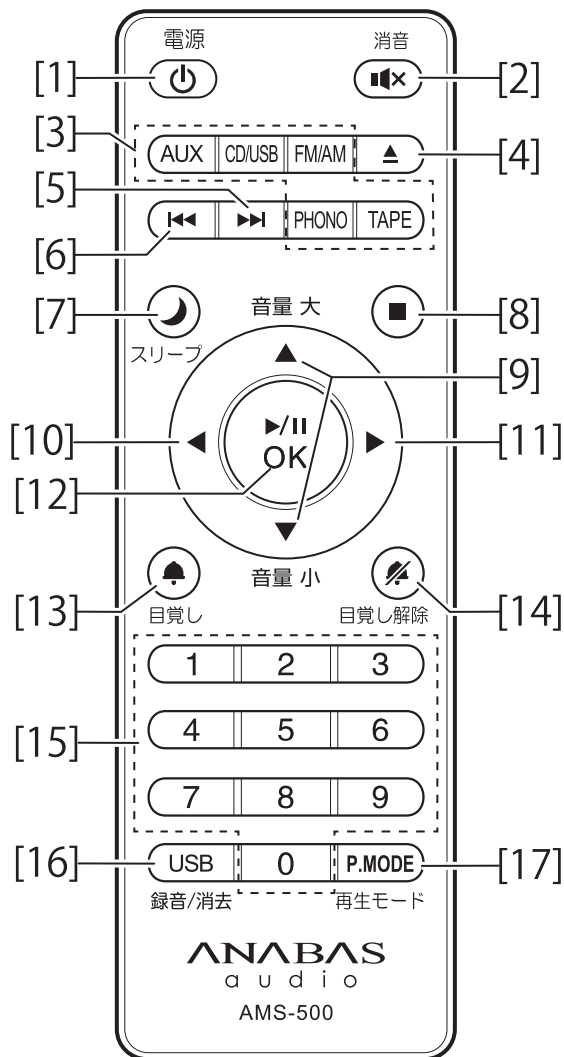
お持ちのヘッドホンまたはイヤホンを接続できます。

※ヘッドホンまたはイヤホンを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

⑤ アンテナ接続端子

付属のFM 室内アンテナを接続します。

●リモコン



[1] 電源 ボタン

本機の電源入と電源待機を切り替えます。
※本機を長時間使わないときは、本体背面の主電源スイッチを切りにしてください。

[2] 消音 ボタン

ボタンを押すと再生中の音声が消えます。
もう一度押すと元に戻ります。

[3] 機能切替 ボタン

再生する音源を切り替えます。

[4] ▲ (トレイ開/閉) ボタン

CDトレイの開ける、閉めるをおこないます。

[5] ▶▶ (早送り/スキップ) ボタン

[CD/USB]
次の曲に移動します。
長く押すと、再生中の曲の早送りになり、手を離すと再生に戻ります。
[FM/AM ラジオ]
周波数が高くなります。
長く押すと、連続して周波数が高くなり、受信できる放送局を探します。

[6] ◀◀ (早戻し/スキップ) ボタン

[CD/USB]
前の曲に移動します。
長く押すと、再生中の曲の早戻しになり、手を離すと再生に戻ります。
[FM/AM ラジオ]
周波数が低くなります。
長く押すと、連続して周波数が低くなり、受信できる放送局を探します。

[7] 月 (スリープ) ボタン

ボタンを押すたびに電源が待機状態になるまでの時間を設定できます。設定できる時間の間隔は、90分間から10分間まで10分間隔で設定できます。
90→80→70→・・・→20→10→OFF

[8] ■ (停止) ボタン

[CD/USB]
CD/USBの音楽再生を停止します。
[FM ラジオ]
ステレオ放送のAUTO(自動切替)とMONO(モノラル)を切り替えます。

[9] ▲ 音量 / ▼ 音量 ボタン

音量を大きく / 小さくします。
長く押すと、連続して音量が変化します。

[10] ◀ (フォルダスキップ) ボタン

[電源待機時]
時刻の設定、目覚しの設定をおこなうときにボタンを押して項目を選択します。
[USB]
前のフォルダーに移動します。

[11] ▶ (フォルダスキップ) ボタン

[電源待機時]
時刻の設定、目覚しの設定をおこなうときにボタンを押して項目を選択します。
[USB]
次のフォルダーに移動します。

[12] ▶/|| OK (再生/一時停止/OK) ボタン

[CD/USB]
再生と一時停止を切り替えます。
[電源待機時]
長押しすると、時刻設定モードになります。
時刻の設定をおこなっているときに押すと選択した項目を決定します。

[13] 目覚し ボタン

[電源待機時]
ボタンを長押しすると、目覚しの設定状態になります。
目覚しの設定をおこなっているときに押すと選択した項目を決定します。
目覚しが解除されている時に押すと、前の設定条件で目覚ましを再設定します。

[14] 目覚し解除ボタン

[電源待機時]

ボタンを押すと、目覚しを解除します。

[15] 数字 (1 ~ 9、0) ボタン

[CD/USB]

お聞きになりたい曲の番号を直接選べます。

10曲目以上の曲を聞くときは数字を2秒以内に連続して押します。

[16] USB 録音/消去ボタン

CD、ラジオ (FM/AM)、外部入力、カセットテープ (テープ)、レコード (プレーヤー) の音楽をUSBメモリーに録音します。

長押しすると、USBメモリーの曲を削除します。

[17] P.MODE 再生モードボタン

[CD/USB]

ボタンを押すと現在の再生モードを表示し、さらにボタンを押すたびに再生モードを切り替えます。

ONE→ALL→RAM
←NORM←

停止中にボタンを長押しすると、プログラムモードになります。

● お使いになる前の準備

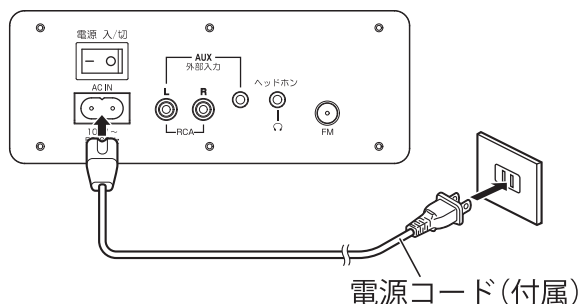
● 電源を準備する

1. 付属の電源コードのコネクターを本機背面の電源コード接続端子に奥までしっかりと接続します。



※付属の電源コードは本機専用です。
※付属の電源コード以外は使わないでください。
※付属の電源コードを他の機器に使わないでください。

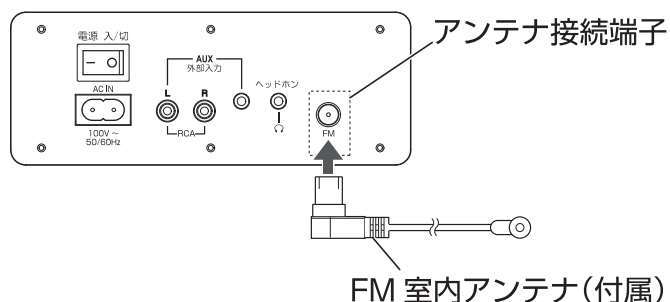
2. 電源コードを交流100Vのコンセントに接続します。



※濡れた手で電源コードの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。
※主電源スイッチを切っても電源から完全には遮断されていません。
万一の事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くことができるコンセントに接続してください。

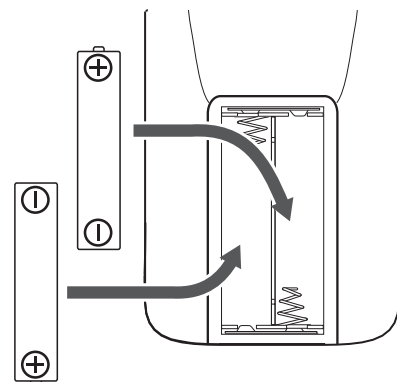
● FM室内アンテナを接続する

1. 本機背面のアンテナ接続端子に付属のFM室内アンテナを接続します。
 - FM室内アンテナを接続した後に放送を受信し、雑音の少ない位置にテープなどでFM室内アンテナを固定してください。



● リモコンの電池を入れる

1. リモコン背面の電池ケースふたを外します。
2. 単4形乾電池 (別売) の極性をよく確認して、電池ケースに2本入れます。



※充電式の電池はお使いにならないでください。リモコンの故障や感電の原因となることがあります。

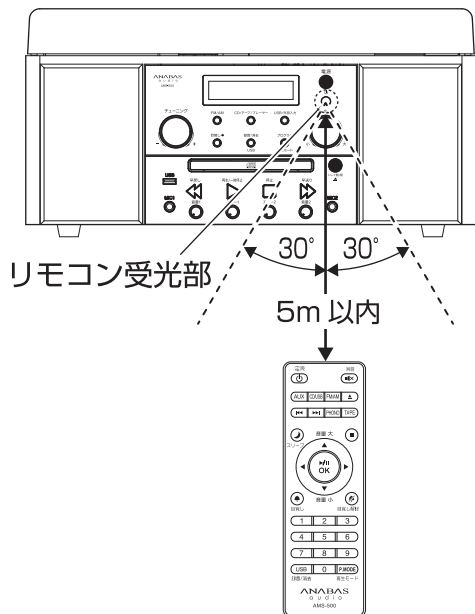
●電池は付属しておりません。ご使用になる電池は、単4形アルカリ乾電池をお勧めいたします。

3. リモコン背面の電池ケースふたを取り付けます。

● リモコンの操作方法

リモコンの操作範囲は本機から約5mで、リモコン受光部から左右に各30度の範囲でお使いください。

1. リモコンを本機のリモコン受光部に向けて、各ボタンを押します。

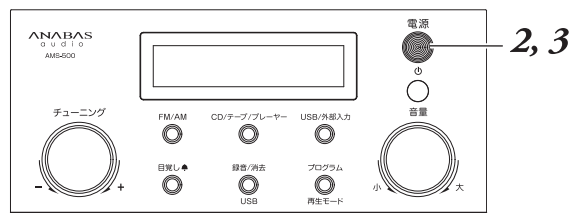


● リモコン操作のご注意

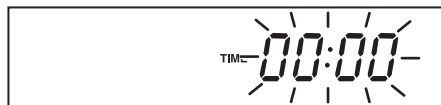
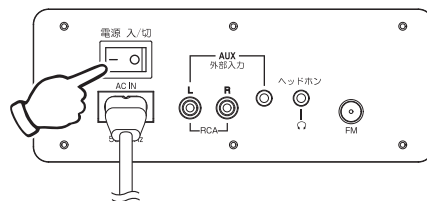
リモコンは、赤外線を使っております。以下についてご注意のうえ、お使いください。

- 本機に直射日光や強い光を当てないでください。特にリモコン受光部に直射日光や強い光が当たるとリモコンが正しく動作しないことがあります。
- リモコンと本機のリモコン受光部の間に遮蔽物を置かないでください。リモコンからの信号が受信できず、本機が正しく動作しないことがあります。

● 電源を入れる

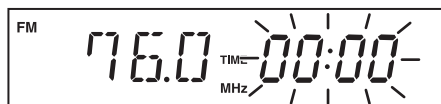


1. 本機背面の主電源スイッチの入（－）側を押します。



- 「00:00」が点滅表示され、電源待機状態になります。
- 「時刻を合わせる」(P.11) をご覧になり、時刻を合わせてください。電源が入ると、表示部のバックライトが点灯します。

2. 電源を入れるには、本体またはリモコンの【電源 〇】ボタンを押します。

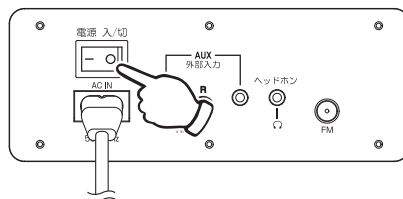


- 電源を入れると、最後に使った機能になります。
- 他の機能に切り替えるには、「機能を切り替える」(P.12) をご覧ください。

3. 電源待機状態に戻すには、本体またはリモコンの【電源 〇】ボタンを押します。

- 電源待機状態になり、時刻表示のみになります。

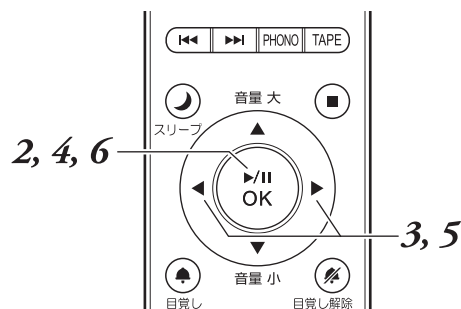
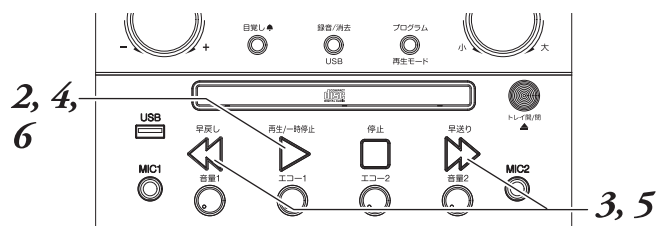
4. 電源を切るには、本機背面の主電源スイッチの切（○）側を押します。



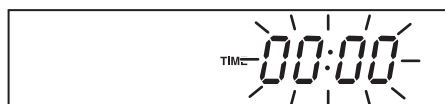
- 主電源を切ると、時刻の設定は消去されます。再度主電源スイッチを入れたときには、時刻を設定してください。

● 基本的な使い方

● 時刻を合わせる

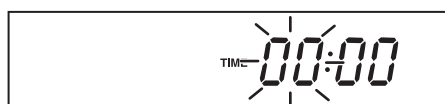


1. 電源待機状態を確認します。



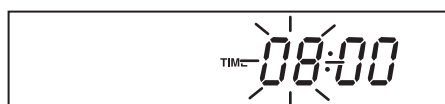
- 初めてお使いになる時、または主電源を切った後は、電源を入ると「00:00」が点滅表示されます。
- 電源が入っていると、時刻を合わせることはできません。電源が入っているときは、本体またはリモコンの【電源 〇】ボタンを押して電源待機状態にしてください。

2. 本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/|| OK】ボタンを長押しします。



- 時間が点滅します。

3. 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押して時間を合わせます。



- 時間表示は、24時間表示です。
- 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押すたびに、時間が変わります。
- 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押し続けると、時間が速く変わります。

4. 時間を決定するには、本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/|| OK】ボタンを押します。



- 分が点滅します。

5. 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押して分を合わせます。



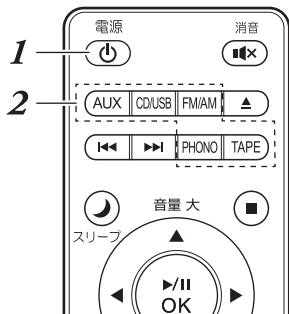
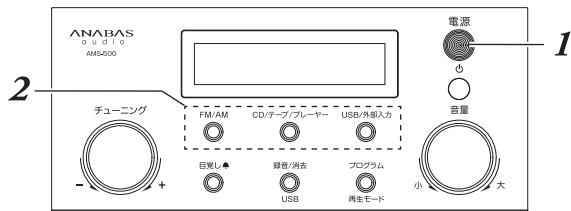
- 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押すたびに、分が変わります。
- 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押し続けると、分が速く変わります。

6. 分を決定するには、本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/|| OK】ボタンを押します。



- これで時刻設定が完了です。

●機能を切り替える



1. 電源を入れます。

- 電源が入ると、前回使っていた機能が表示されます。



- 初めてお使いになる時、FMモードになり「FM 76.0MHz」が表示されます。

2. 機能を切り替えるには、本体の【FM/AM】ボタン、【CD/テープ/プレーヤー】ボタンまたは【USB/外部入力】ボタンを押します。

- ボタンを押す度に、機能は以下のように切り替わります。

【CD/テープ/プレーヤー】ボタン

CD→TAPE (カセットテープ)

↑ PH (レコードプレーヤー)

【USB/外部入力】ボタン

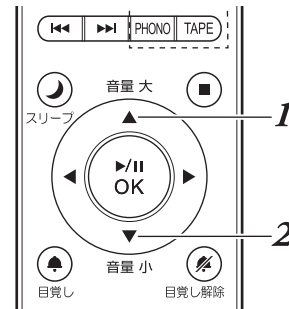
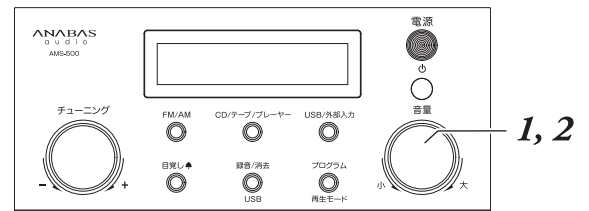
USB (USBメモリー) ⇄ AUX (外部入力)

【FM】ボタン

FM ⇄ AM

または、リモコンの【入力切替 (AUX、CD/USB、FM/AM、PHONO、TAPE)】ボタンを押します。

●音量を調節する



1. 音量を上げるには、本体の音量ツマミを時計回り (右) に回します。またはリモコンの【▲ 音量大】ボタンを押します。



※音量は徐々に上げてください。特に、ヘッドホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

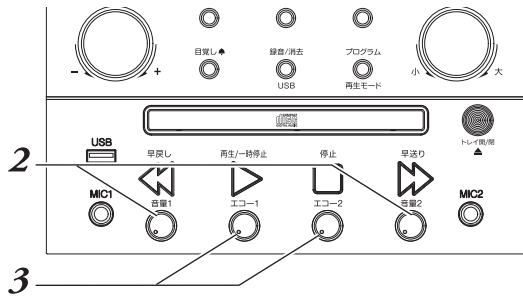
- 音量設定の初期値は08です。
- 音量は00～32の間で設定できます。
- リモコンの【▲ 音量大】ボタンを押し続けると、音量を連続して大きくできます。

2. 音量を下げるには、本体の音量ツマミを反時計回り (左) に回します。またはリモコンの【▼ 音量小】ボタンを押します。

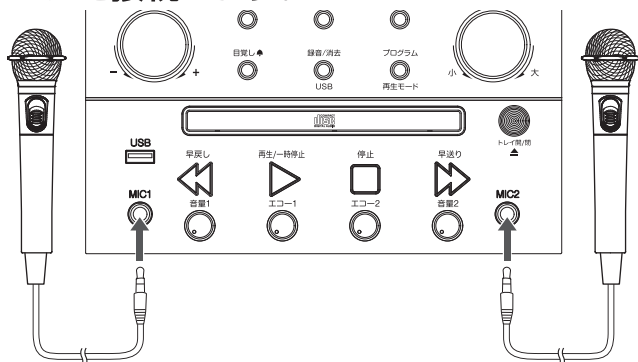
- リモコンの【▼ 音量小】ボタンを押し続けると、音量を連続して小さくできます。

●マイクを接続する

本機のマイク接続端子に市販のカラオケ用などのマイクを接続して、本機のスピーカーから音声を出力したり、音声を録音できます。（「マイクからの音声も録音する」31、35 ページ）



1. 本機前面のマイク接続端子に市販のマイクを接続します。



- 市販のマイクは、プラグがΦ6.3mmステレオ標準プラグのダイナミックマイクをお使いください。

2. マイクの音量を変えるには、本体の音量1つまみまたは音量2つまみを回します。

- 本体の音量1または音量2つまみを時計回り（右）に回すと、MIC1またはMIC2に接続したマイクの音量が大きくなります。
 - 本体の音量1または音量2つまみを反時計回り（左）に回すと、MIC1またはMIC2に接続したマイクの音量が小さくなります。
- 本体の音量1または音量2つまみを反時計回り（左）に回し切ると、MIC1またはMIC2に接続したマイクからの音声は出なくなります。

3. マイクのエコー量を変えるには、本体のエコー1つまみまたはエコー2つまみを回します。

- 本体のエコー1またはエコー2つまみを時計回り（右）に回すと、MIC1またはMIC2に接続したマイクのエコー量が大きくなります。
 - 本体のエコー1またはエコー2つまみを反時計回り（左）に回すと、MIC1またはMIC2に接続したマイクのエコー量が小さくなります。
- 本体のエコー1またはエコー2つまみを反時計回り（左）に回し切ると、MIC1またはMIC2に接続したマイクのエコーは無くなり、通常の音声になります。

●目覚しを使用する

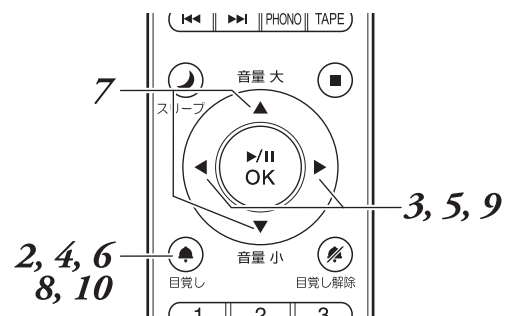
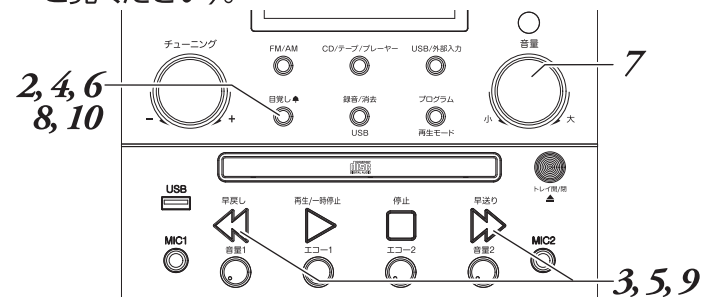
目覚しの再生を開始する時刻および停止する時刻を指定できます。また、目覚しとしてラジオ（FM/AM）、CDまたはUSBを目覚しとして再生できます。

●目覚しの動作について

- アラームの種類にCDを設定したときは、1曲目から再生します。
- アラームの種類にラジオ（FM/AM）を設定したときは、最後に聞いた放送局を受信します。
- アラームの種類にUSBを設定したときは、最上位のフォルダの曲から再生します。
- アラームの種類にCDまたはUSBを設定しても再生できなかったときは、自動的にラジオ（FM/AM）に切り替わります。
- 目覚しの停止を設定した時刻になると、再生が停止し、電源待機状態になります。
- 停止した目覚しは、目覚しを解除するまで、毎日設定した時刻に再生されます。

●目覚しを設定する

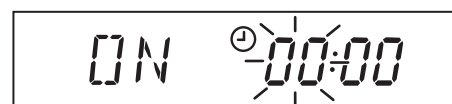
※時刻が設定されていないと、目覚しを設定することができません。目覚しを設定する前に、必ず時刻を設定してください（「時刻を合わせる」(P.11)）をご覧ください。



1. 電源待機状態を確認します。

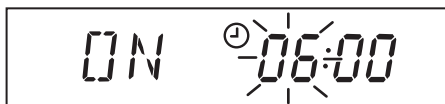
- 電源が入っていると、目覚しを設定することはできません。電源が入っているときは、本体またはリモコンの【電源 〇】ボタンを押して電源待機状態にしてください。

2. 本体またはリモコンの【目覚し 〰】ボタンを長押しします。



- 起動時間が点滅表示します。

3. 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押し、目覚しが起動する時間を設定します。



4. 時間を決定するには、本体またはリモコンの【目覚し ㊦】ボタンを押します。



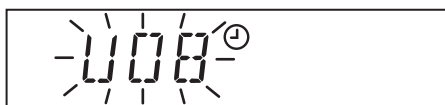
- 分が点滅します。

5. 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押し、目覚しが起動する分を設定します。



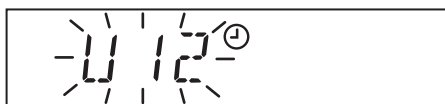
- 時間を決定すると分が点滅表示します。

6. 分を決定するには、本体またはリモコンの【目覚し ㊦】ボタンを押します。



- 分を決定すると音量表示が点滅表示します。

7. 本体の音量ツマミを回す、またはリモコンの【▲ 音量大】ボタン / 【▼ 音量小】ボタンを押して、目覚しの音量を設定します。



8. 音量を決定するには、本体またはリモコンの【目覚し ㊦】ボタンを押します。



- 音量を決定すると目覚しの種類が表示されます。

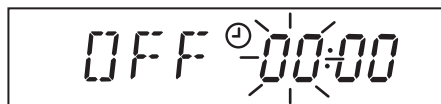
9. 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを押し、目覚しの種類を設定します。



- 目覚しの種類は以下のように表示されます。

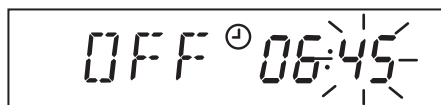
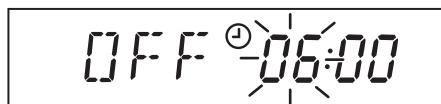
RD (ラジオ) → CD → USB (USBメモリー)

10. 目覚しの種類を決定するには、本体またはリモコンの【目覚し ㊦】ボタンを押します。

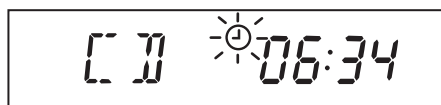


- 停止時間が点滅表示します。

11. 手順3～6と同じ手順で、目覚し停止の時間と分を設定します。



- 分を決定すると、目覚しが設定され、電源が切れ時刻表示に戻ります。
- 目覚しが設定されると、「㊦」が表示されます。



- 目覚し再生中は、「㊦」が点滅します。

● 目覚しを解除・再設定する

目覚しを解除したり、解除した目覚しを再度設定することができます。



1. 電源待機状態を確認します。

- 電源が入っているときは、本体またはリモコンの【電源 〇】ボタンを押して電源待機状態にしてください。

2. 目覚しを解除するには、リモコンの【目覚し解除 〻】ボタンを押します。

- 目覚しが解除され、「④」が消えます。

3. 解除した目覚しを再設定するには、本体またはリモコンの【目覚し 〰】ボタンを押します。

- 目覚しが再設定され、「④」が表示されます。
- 前回設定した条件で、目覚しが起動・停止します。
- 目覚し再生中に、【〻】ボタンを押すと、目覚しの設定を解除し、電源待機状態になります。

● スリープを設定する

音楽を聞いているときに、電源が切れるまでの時間を設定できます。



1. 電源を入れ、機能を選びます。

2. リモコンの【スリープ 〵】ボタンを何度か押し電源が切れるまでの時間を選択します。

- 電源が切れるまでの時間は、90分間から10分間まで10分間隔で設定できます。

90→80→70→……→20→10→OFF

- スリープ時間を設定後、操作をしないで元の表示に戻ってもスリープ時間は設定されます。
- スリープ時間が「OFF」の表示になるまでスリープ（〵）ボタンを何度か押すと、スリープは解除されます。
- 電源が切れるまでの時間を確認するには、スリープ（〵）ボタンを短く押します。約3秒間残り時間が表示され、その後元の表示に戻ります。

● CD取り扱い上のご注意

● 使用できるCDについて



マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

- コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保障はしかねます。

■ CD-R/RWディスクについて

- この商品は、CD-DAフォーマットで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み取りに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクに傷をつけることがあります。
- MP3/WMA/WMV ファイルを収録したディスクは再生できません。
- VCD (ビデオCD) は再生できません。

※メディアの種類、録音時の設定（書き込みスピードなど）によっては再生できないか、音質が著しく悪い場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 以下のCD、光ディスクは絶対に再生させないでください。

- DVD (音楽DVD含む)
- 音楽CDではないCD (データ記録用のものなど)
- 録音されていないCD-R/RW

※上記のものを再生すると大音量でスピーカーが破損、また、お聞きになった方の聴力に障害を及ぼす危険があります。

- 円形以外のCD、CD-R (ハート形、名刺形など)



※上記のものを再生すると回転時に遠心力が不均等に働き、本体を破損させるおそれがあります。

● CD取扱上の注意

再生面、レーベル面ともにシールを貼ったり、傷をつけないようにしてください。

■持ち方

再生面、レーベル面に触れないよう、図のように持ちます。



■お手入れの方法

ディスクに指紋や汚れがついた場合は、やわらかい布で放射状に拭き取ります。

レコードのように円状に拭かないでください。



※市販のCDクリーニングキットを使うとより効果的です。

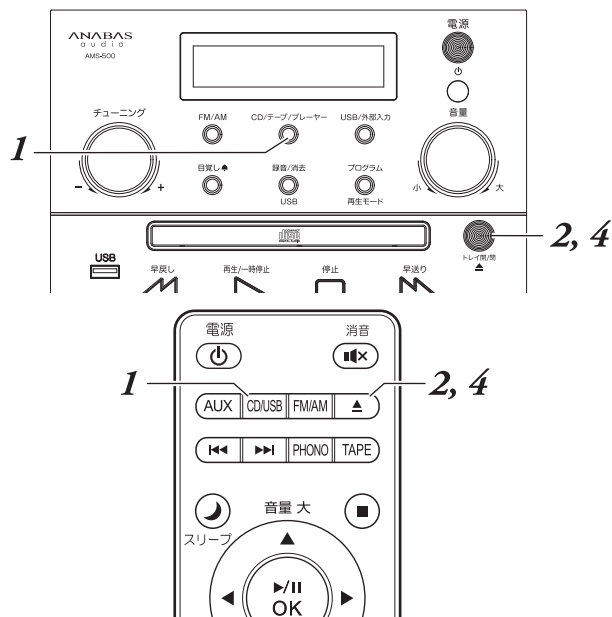
鑑賞し終わったCDは本体に入れたままにせず、ケースに入れて保存してください。



※これ以降の操作につきましては、特にことわりのない限り、電源が入った状態での操作になります。

● CDの聞き方

● CDを再生する

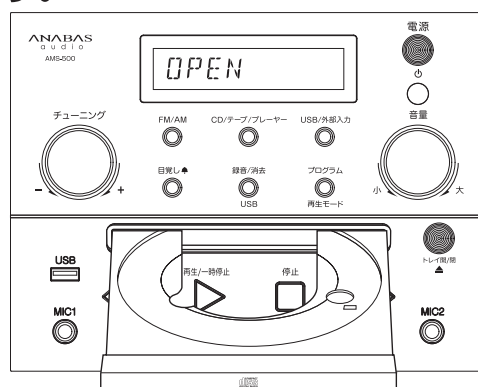


1. 本体の【CD/テープ/プレーヤー】ボタンまたはリモコンの【CD/USB】ボタンを何度か押し、CD機能を選択します。

- CDが選ばれると、「CD ———」が表示され、その後に「CD NO」が表示されます。

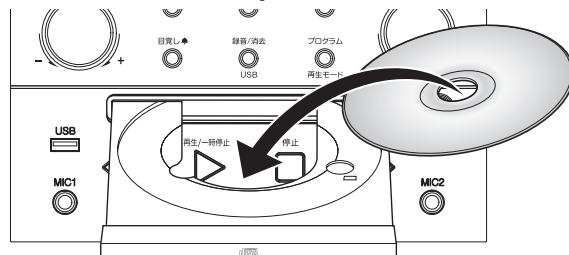


2. 本体の【▲トレイ開/閉】またはリモコンの【▲】ボタンを押し、CDトレイを開きます。



- 「OPEN」が表示されます。

3. CDトレイにCDを乗せます。



4. 本体の【▲ トレイ開/閉】またはリモコンの【▲】ボタンを押し、CDトレイを閉じます。

※CDトレイの前面部を押して、CDトレイを閉じないでください。故障の原因となることがあります。

※CDトレイを閉じるときは、必ずリモコンまたは本体の【▲】ボタンを押してください。

- 「CD — — —」が表示され、その後に曲の番号が表示され、最初の曲から再生が始まり、再生経過時間が表示されます。
- CD再生中は、曲の再生経過時間（約15秒）と曲の番号（約3秒）が交互に表示されます。



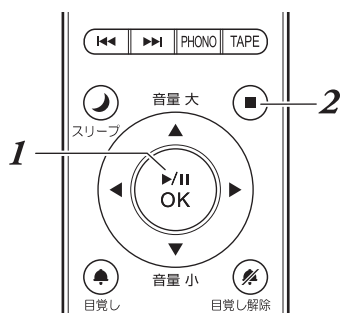
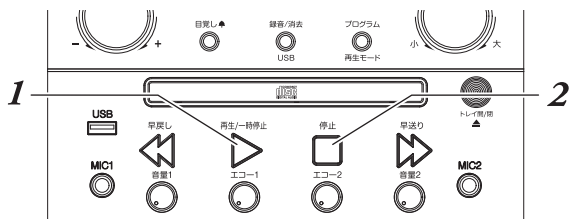
▼▲ 曲の番号



曲の再生経過時間

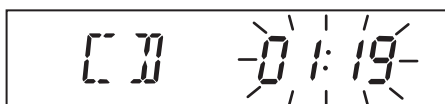
- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。
- CD再生中にCDトレイを開けると、CDの再生は停止します。
- 再生中に電源コードを抜くと本機の故障の原因となることがあります。必ずCDが停止したのを確認してから電源コードを抜いてください。

●CDの再生を操作する



1. 再生を一時停止するには、再生中に本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/II OK】ボタンを押します。

- 一時停止中は、再生経過時間が点滅します。

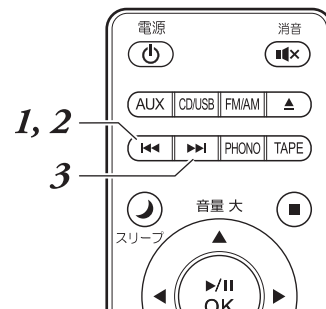
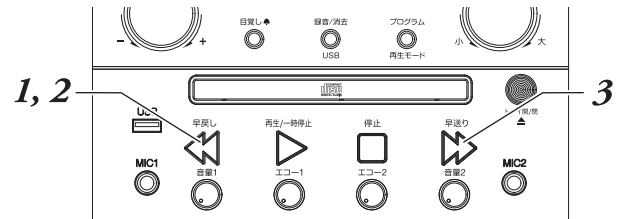


- 本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/II OK】ボタンをもう一度押すと、再生に戻ります。

2. 再生を停止するには、本体の【■ 停止】ボタンまたはリモコンの【■】ボタンを押します。

- CDの回転が止まり、総曲数の表示に変わります。

● 曲を移動する



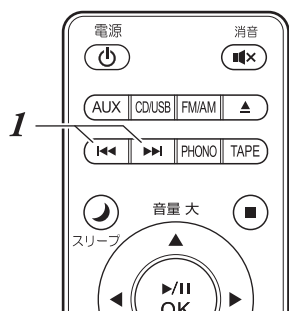
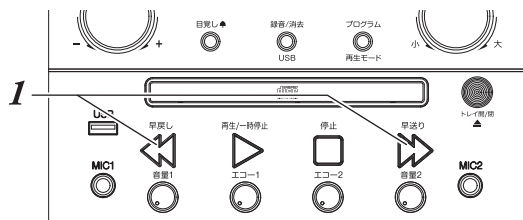
1. 曲の始めに戻るには、本体の【◀◀ 早戻し】ボタンまたはリモコンの【◀◀】ボタンを押します。

2. 聞きたい曲に戻るには、本体の【◀◀ 早戻し】ボタンまたはリモコンの【◀◀】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。

3. 聞きたい次の曲に進むには、本体の【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【▶▶】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。

- 停止または一時停止中に、本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押してお好みの曲を選んで再生することもできます。

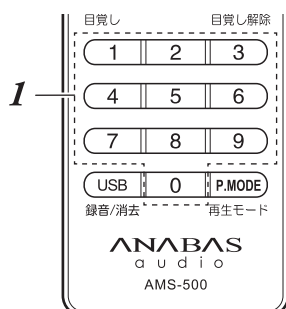
● 早送り/早戻し再生をする



1. 早送り/早戻し再生するには、再生中に1秒以上本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押し続けます。

- 早送り/早戻しは、曲を越えて行うことができません。
- 一時停止中も、早送り/早戻しを行うことができます。

● 好きな曲番を直接再生する



1. 好きな曲番を直接再生するには、リモコンの数字ボタンで再生する曲の番号を押します。

- 数字ボタンを押してから約4秒後に選曲した曲に移動します。
- 10曲目以上の曲番を選ぶときは数字ボタンを2秒以内に続けて押します。
- 収録曲数を超える数字が押されたときは、入力は無効になり、曲の再生は始まりません。

● USBメモリーの音楽の聞き方

● 音楽データを再生する

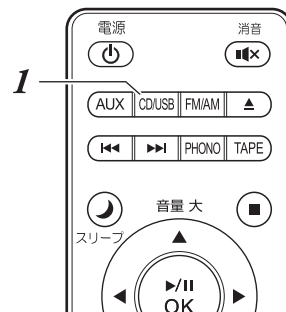
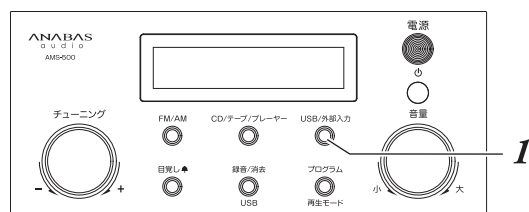
本機はUSBメモリー内の音楽データを再生することができます。

- ※容量が大きいUSBメモリーを使用すると、USBメモリーが発熱し不具合が生じることがあります。メモリー容量32GB以下のUSBメモリーを使用してください。
- ※再生できる音楽データはMP3、WMA*です。ただし、これらの音楽データでも、データの作成方法により再生できない場合があります。



Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

"WMA" (Windows Media Audio) は、米国マイクロソフト社の開発したオーディオコーデックです。

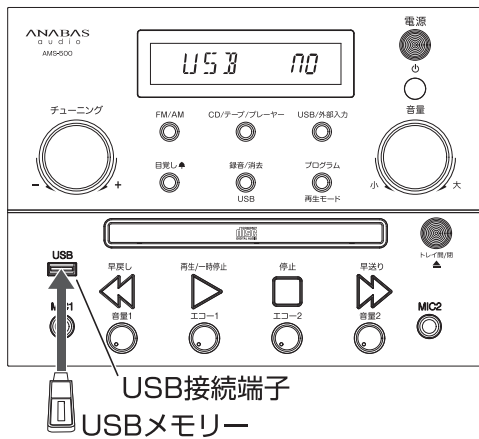


1. 本体の【USB/外部入力】またはリモコンの【CD/USB】ボタンを何回か押し、「USB」の表示にします。

- USBが選ばれると、「USB」に続き、「USB NO」が表示されます。

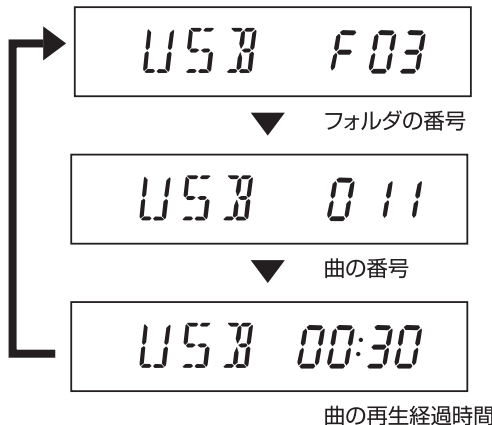


2. 本体前面のUSB接続端子に音楽データが入ったUSBメモリーを接続します。



※USBメモリーには向きがあります。向きをよく確かめて接続してください。無理に接続すると本機またはUSBメモリーを破損するおそれがあります。

- USBメモリーを接続すると、「USB — — —」が表示され、曲の番号が表示されます。その後、フォルダ番号、曲の番号が表示され、USBに記録された順に曲が再生され、再生経過時間が表示されます。
- USBの音楽を再生中は再生経過時間（約15秒）、フォルダ番号（約2秒）、曲の番号（約3秒）が繰り返し表示されます。

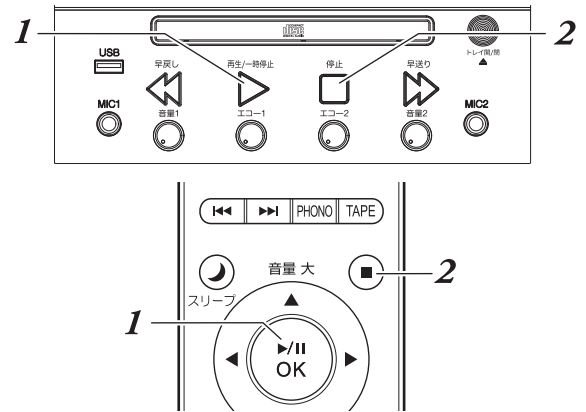


- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。



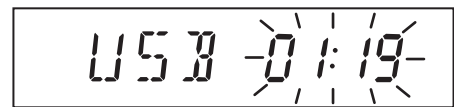
※USBメモリーとの相性によってUSBメモリーを挿したまま、機能を他の機能からUSBに切り替えるとデータが読めないことがあります。このようなときは一度USBメモリーを抜き、機能をUSBに切り替えてからUSBメモリーを接続してください。

● USBデータの再生を操作する



1. 再生を一時停止するには、再生中に本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/|| OK】ボタンを押します。

- 一時停止中は、再生経過時間が点滅します。

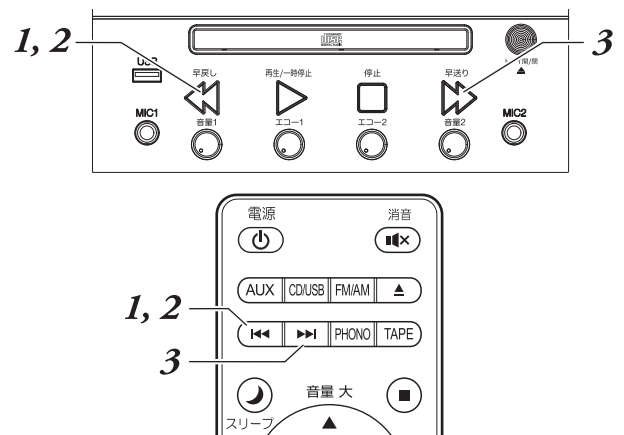


- 本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/|| OK】ボタンをもう一度押すと、再生に戻ります。

2. 再生を停止するには、本体の【■ 停止】ボタンまたはリモコンの【■】ボタンを押します。

- 再生が止まり、総曲数の表示に変わります。

● 曲を移動する



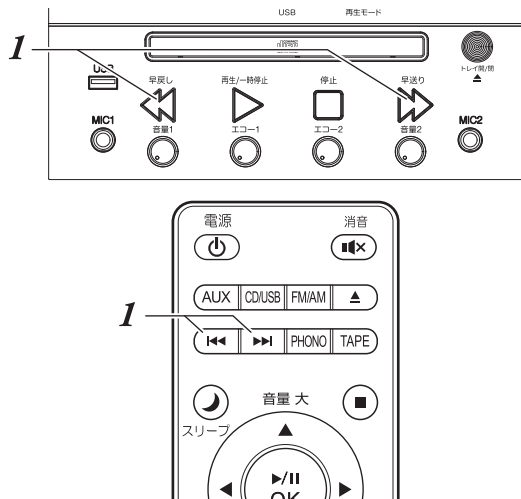
1. 曲の始めに戻るには、本体の【◀◀ 早戻し】ボタンまたはリモコンの【◀◀】ボタンを押します。

2. 聞きたい曲に戻るには、本体の【◀◀ 早戻し】ボタンまたはリモコンの【◀◀】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。

3. 聞きたい次の曲に進むには、本体の【▶▶ 早送り】ボタンリモコンの【▶▶】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。

- 停止または一時停止中に、本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押してお好みの曲を選んで再生することもできます。

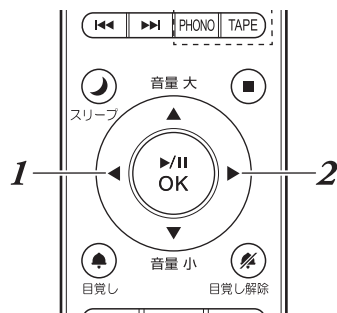
● 早送り / 早戻し再生をする



1. 早送り / 早戻し再生するには、再生中に1秒以上本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押し続けます。

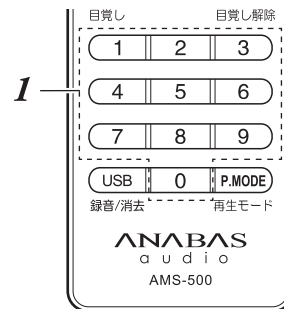
- 早送り / 早戻しは、曲を越えて行うことができません。
- 一時停止中も、早送り / 早戻しを行うことができます。

● フォルダを移動する



- 1.** 聞きたいフォルダに戻るには、リモコンの【◀】ボタンを聞きたいフォルダになるまで何回か押します。
- 2.** 聞きたいフォルダに進むには、リモコンの【▶】ボタンを聞きたいフォルダになるまで何回か押します。

● 好きな曲番を直接再生する



1. 好きな曲番を直接再生するには、リモコンの数字ボタンで再生する曲の番号を押します。(最大999曲)

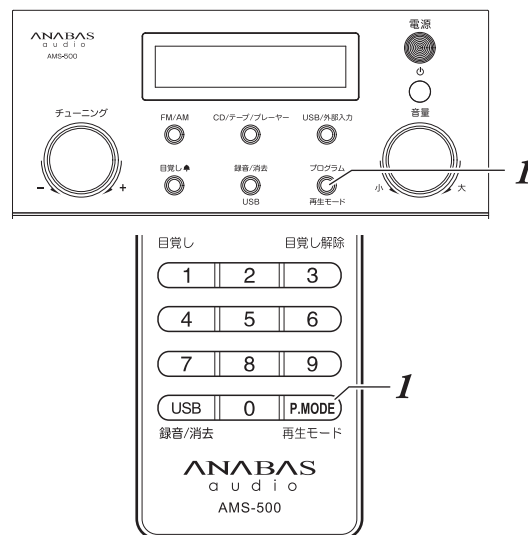
- 数字ボタンを押してから約4秒後に選曲した曲に移動します。
- 10曲目以上999曲目以下を選ぶときは、数字ボタンを2秒以内に続けて押します。
- 収録曲数を超える数字が押されたときは、入力は無効になり、曲の再生は始まりません。
- 999曲目を越える曲番は、再生可能ですが、直接再生することはできません。

また、表示部の曲番は、下3桁表示となります。

- 1000曲目再生のとき"USB 000"
- 1001曲目再生のとき"USB 001"

● いろいろな聞き方

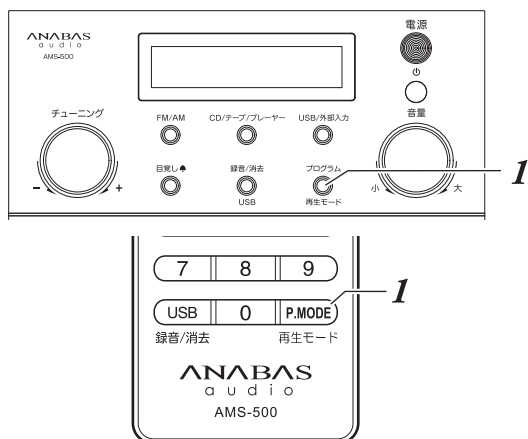
● 再生モードの表示(CD/USB)



1. 曲の再生中にリモコンの本体の【プログラム / 再生モード】ボタンまたはリモコンの【P.MODE / 再生モード】ボタンを押します。

- 現在の再生モードを表示します。
NORM : 通常再生モード
ONE : 1曲リピート再生モード
ALL : 全曲リピート再生モード
RAM : 全曲ランダム再生モード

●再生モードの選択(CD/USB)



1. 再生モードを表示しているときに、本体の【プログラム/再生モード】ボタンまたはリモコンの【P.MODE/再生モード】ボタンを押します。

- 再生モード(P.MODE)ボタンを押すたびに、再生モードの表示が以下のように切り替わります。

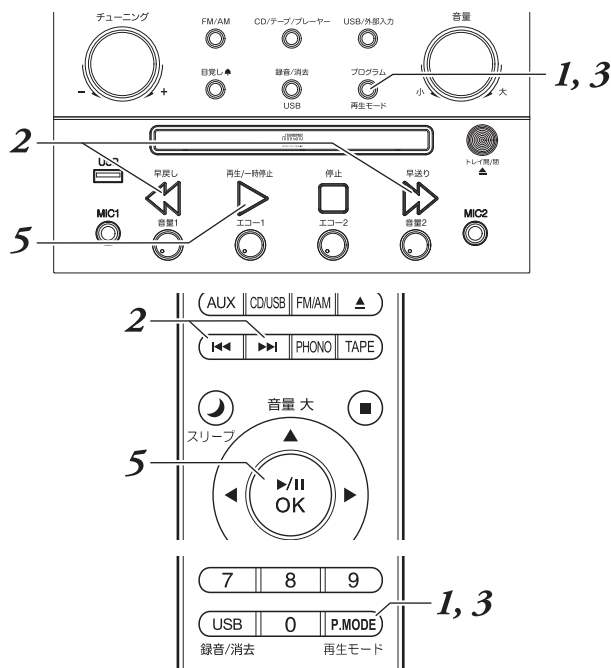
ONE→ALL→RAM
←NORM←

1. 1 曲リピート再生モード (ONE)
1 曲をくり返し再生します。
2. 全曲リピート再生モード (ALL)
全ての曲をくり返し再生します。
3. 全曲ランダム再生モード (RAM)
全ての曲の順番をばらばらに再生します。
全ての曲が再生し終わると停止します。
4. 通常再生モード (NORM)

- 電源を待機状態にすると設定した再生モードは解除され、通常再生モードになります。
- 再生中は曲の番号の次に再生モードが約2秒表示されます。(通常再生モードを除く)

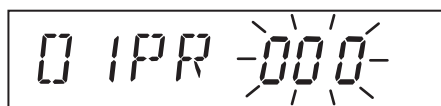
●プログラム再生(CD/USB)

再生停止中にリモコンの再生モード(P.MODE)ボタンを長押しすると、好きな曲の番号を選んでプログラムできます。



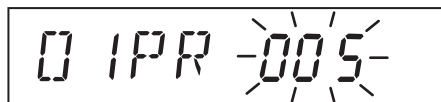
1. 停止中に本体の【プログラム/再生モード】ボタンまたは【P.MODE/再生モード】ボタンを長押しします。

- 「01PR」が表示され「000」が点滅します。



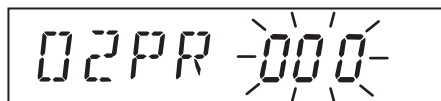
2. 本体の【◀◀ 早戻し】/【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】/【▶▶】ボタンを押してプログラムする曲の番号を選択します。

- 入力した曲の番号が点滅表示されます。



3. 本体の【プログラム/再生モード】ボタンまたは【P.MODE/再生モード】ボタンを押します。

- 1 曲目のプログラムが完了し、「02PR」が表示され「000」点滅し、2 番目にプログラムする曲の番号の入力待ちになります。



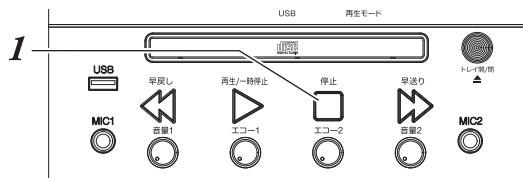
4. 手順2と3の操作をくり返してプログラムする曲を全て入力します。

- 20 曲までプログラムできます。

5. プログラムする曲の入力が全て完了したら、本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/II OK】ボタンを押します。

- プログラムした曲を順番に再生します。
- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。
- 曲の再生が停止してもプログラムモードは解除されません。
- プログラム再生モード中はランダム再生はできません。
- 手順1の操作のあとに、数字ボタンを押してもプログラムすることができます。

●プログラムの解除(CD/USB)



1. 停止中に本体の【■ 停止】ボタンまたはリモコンの【■】ボタンを押すと、プログラムが解除されます。

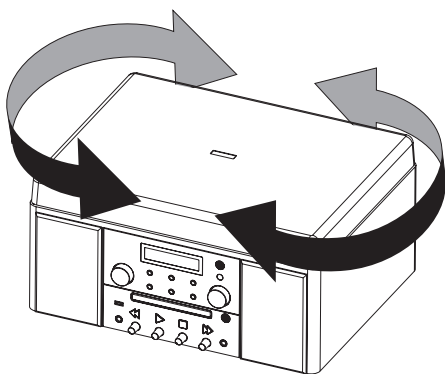
- 電源を待機状態にしたときはプログラム再生モードを解除します。

●ラジオの聞き方

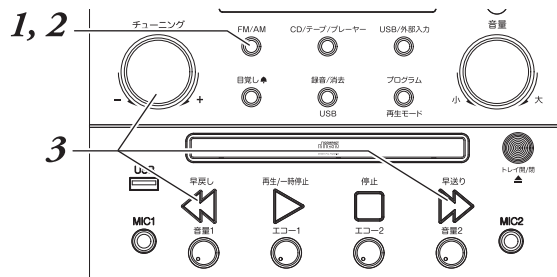
本機はワイドFM (FM補完放送) に対応しています。ワイドFM (FM補完放送) とはAM (中波) 放送局のエリアにおいて難聴対策や災害対策を目的としてFM放送の周波数90.1 ~ 94.9MHzを用いてAM放送局がFM放送をすることです。

●アンテナの感度を調整する

- FM室内アンテナの接続については、「FM室内アンテナを接続する」(P.9) をご覧ください。
- AMアンテナは本機内に内蔵されていますので、本機の向きを変えてください。



●FM/AM放送を聞く



1. 本体またはリモコンの【FM/AM】ボタンを押します。



- 他の機能からラジオに切り替えると、FM放送が選択されます。

2. AM放送とFM放送を切り替えるには、本体またはリモコンの【FM/AM】ボタンを押します。



FM放送



AM放送

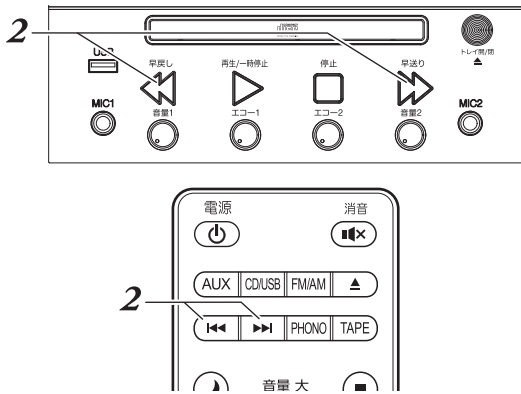
- ワイドFM (FM補完放送) をお聞きになるときは、FMを選択してください。

3. 本体のチューニングツマミを回す、または本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押し、聞きたい局に合わせます。



- パソコンなどの電子機器が近くにあると、音声にノイズが入ったり、受信できないことがあります。パソコンなどの電子機器からは離してお使いください。

● 自動で受信する（自動選局）

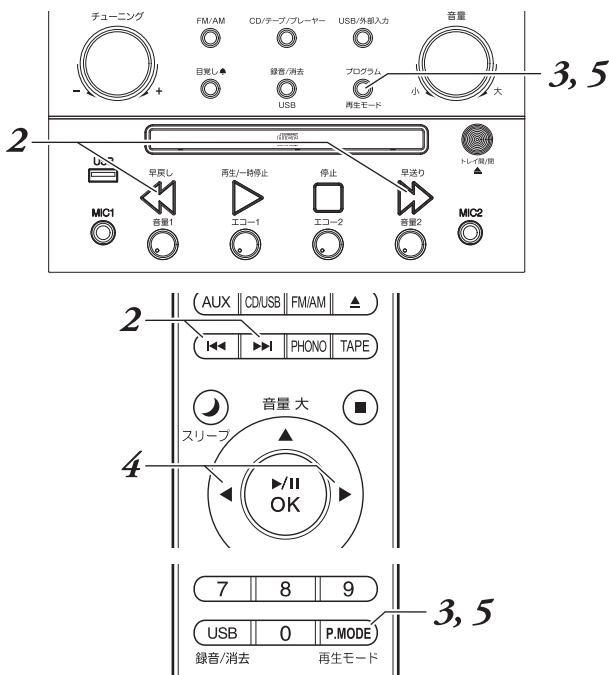


1. 左欄の「FM/AM放送を聞く」の手順1.と2.をおこないFMラジオまたはAMラジオを選択します。
2. 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを長押しします。
 - 周波数が自動で変わり、受信できる周波数になると停止します。
 - 本体の【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【▶▶】ボタンを押すと、周波数は増加して変わります。
 - 本体の【◀◀ 早戻し】ボタンまたはリモコンの【◀◀】ボタンを押すと、周波数は減少して変わります。
3. 自動で受信できたことを確認します。
 - 電波の状態などにより、自動選局をおこなっても受信できないことがあります。

● 放送局を登録する（プリセット）

お聞きになりたい放送局をあらかじめ本機に登録することをプリセットと呼びます。これを自動または手動でおこなうことができます。

● 手動で周波数を登録する（マニュアルプリセット）

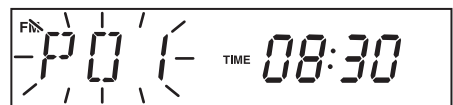


1. 「FM/AM放送を聞く」(P.22) の手順1.と2.をおこないFMラジオまたはAMラジオを選択します。
2. 本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを長押し、登録したい局の周波数に合わせます。



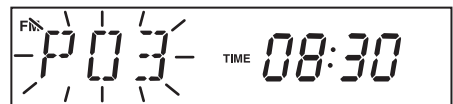
● 周波数が自動で変わります。

3. 本体の【プログラム/再生モード】ボタンまたはリモコンの【P.MODE】ボタンを押します。



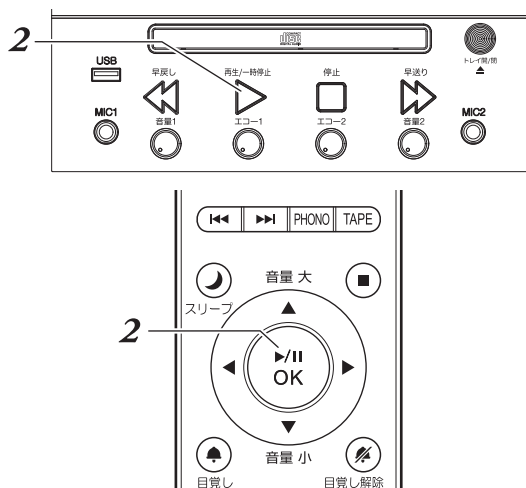
● プリセット番号が点滅表示されます。

4. リモコンの【◀】 / 【▶】ボタンを何度か押して、登録したいプリセット番号にします。



5. 本体の【プログラム/再生モード】ボタンまたはリモコンの【P.MODE】ボタンを押します。
6. 2.～5.の操作をくり返してプリセットする周波数を全て入力します。
 - 登録（プリセット）できる周波数は、FM放送およびAM放送で各20波(P20)、計40波までです。

● 自動で放送局を登録する (オートプリセット)



1. 「FM/AM放送を聞く」(P.22) の手順 1.と2.をおこないFMラジオまたはAMラジオを選択します。

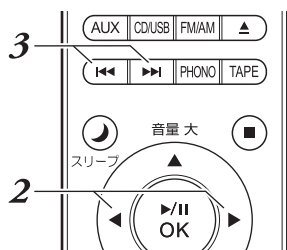
2. 本体の【▶ 再生/一時停止】ボタンまたはリモコンの【▶/II OK】ボタンを長押しします。

- 【▶/II】ボタンを長押しすると、今まで手動で登録した周波数は全て削除され、新しく自動に周波数が登録されます。操作する際は十分に注意して行ってください。(電波状態が悪い場合は登録されませんのでご注意ください。)
- 周波数が自動で変わります。
- 受信できる周波数になるとプリセット番号が表示されます。プリセット番号は「P01」から順次表示されます。
- 登録(プリセット)できる周波数は、FM放送およびAM放送で各20波(P20)、計40波までです。



※ オートプリセットを行う際には十分に注意しておこなってください。特に、電波状態が悪い場合は、周波数が登録されないことがありますのでご注意ください。

● プリセットを使う



1. 「FM/AM放送を聞く」(P.22) の手順 1.と2.をおこないFMラジオを選択します。

2. リモコンの【◀】 / 【▶】 ボタンを何度か押して、聞きたいプリセット番号にします。

- プリセット番号が表示されます。その後、メモリーされている周波数が表示されます。



3. プリセットから手動で周波数を変更するには、本体またはリモコンの【◀◀】または【▶▶】 ボタンを長押しします。

● FM局のステレオ放送について

- ステレオ放送を受信したときは、「ST」が表示されます。



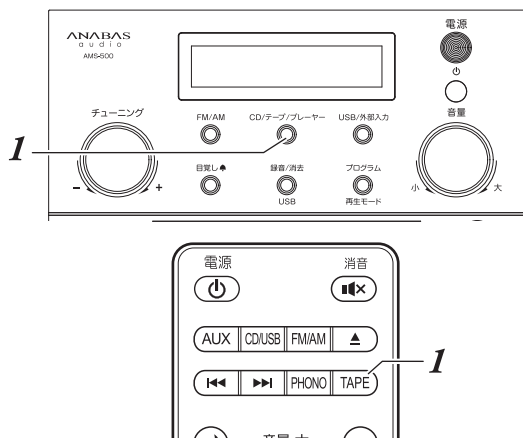
- モノラル放送を受信したときは、「MO」が表示されます。



- 本体またはリモコンの【■】 ボタンを押すと、現状のAUTO (オート)/MONO (モノラル) 音声受信設定が表示されます。
- 「AUTO」または「MONO」が表示中(約2秒)に再度本体またはリモコンの【■】 ボタンを押すと「AUTO」 / 「MONO」を切り替えることができます。
- 「AUTO」に切り替えると、放送に合わせてステレオとモノラルの音声を切り替えます。「MONO」に切り替えると、全ての放送の音声がモノラルになります。
- FM局のステレオ放送を受信時にノイズが多いときは、本体またはリモコンの【■】 ボタンを押してください。「MONO」が表示され、音声はモノラルになり、ノイズが少なくなることがあります(「ST」(ステレオ)表示が消えます。)本体またはリモコンの【■】 ボタンをもう一度押すと、「AUTO」が表示され、音声はステレオに戻ります。

● カセットテープの聞き方

● カセットテープを再生する前の準備



1. 本体の【CD/テープ/プレーヤー】ボタンを何度か押し、カセットテープ機能を選択します。
またはリモコンの【TAPE】ボタンを押します。

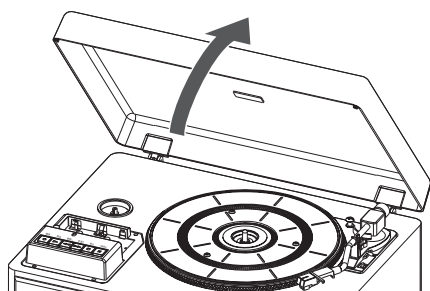


- カセットテープが選択されると、「TAPE」が表示されます。



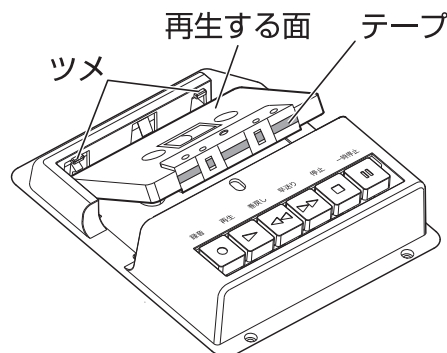
※カセットテープを再生するには必ずカセットテープ機能「TAPE」を選択してください。他の機能が選択されていると、カセットテープは走行していても再生されません。

2. ダストカバーを開きます。



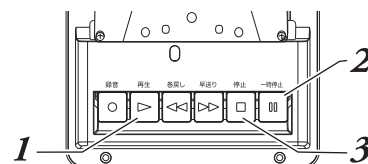
※ダストカバーは約50°開きます。ダストカバーは無理に開けようとしないでください。

3. カセットテープを挿入します。



- カセットテープの再生する面を上にし、テープ部が本体前面側になるようにカセットテープを入れてください。
- カセットの上側をツメの下に入れて、奥側に押し付けながらテープ側をおろすようにすると、スムーズにセットできます。

● カセットテープを再生する



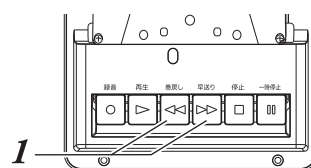
1. 【▶ (再生)】ボタンを押します。

- 再生が始まります。
- 再生してテープが巻き取られると、【▶ (再生)】ボタンは元の位置に戻り、再生は停止します。

2. 再生を一時停止するには、再生中に【⏸ (一時停止)】ボタンを押します。

3. カセットテープを停止するには、【■ (停止)】ボタンを押します。

- 早送り/巻戻しをする



1. 早送り/巻戻しをするには、【▶▶ (早送り)】または【◀◀ (巻戻し)】ボタンを押します。

- 再生中は一度【■ (停止)】ボタンを押して、再生を停止してから早送り/巻戻しをおこなってください。

※テープが巻き取られても、【▶▶ (早送り)】または【◀◀ (巻戻し)】ボタンは、元の位置には戻りません。【■ (停止)】ボタンを押して、操作を解除してください。



※再生中は一度【■ (停止)】ボタンを押して、再生を停止してから早送り/巻戻しをおこなってください。再生中に早送り/巻戻しをおこなうと、テープの巻き付きやテープ切れの原因となることがあります。

●カセットテープについて

● 使用できないカセットテープについて

■ 120分以上の長時間テープ

- 120分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。ノーマルテープ (TYPE1) をご使用ください。

■ エンドレステープ

- 使用できません。

■ テープがたるんだ状態のカセットテープ

- テープがたるんだ状態で使用するとテープの巻き付きの原因になります。テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってください。

● カセットテープの保管について

■ 次のような場所には保管しないでください

- ・ほこりの多いところ
- ・磁石やスピーカーの近くなどの磁気の発生するところ
- ・温度や湿度の高いところ
- ・冷蔵庫など極端に温度の低いところ

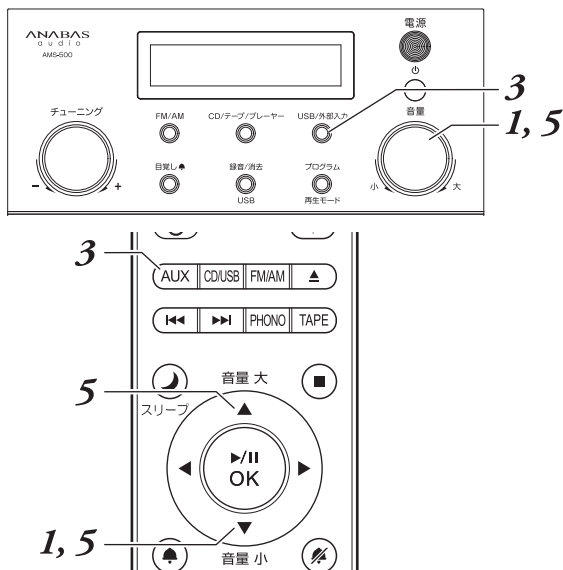
● 録音を消さないために

- 消去を防止するためには、カセットテープの上部にあるツメをドライバーなどで折ってください。
- 再度、録音できるようにするには、ツメを取り除いた穴の部分をセロハンテープなどでふさいでください。

● 外部入力端子の使い方

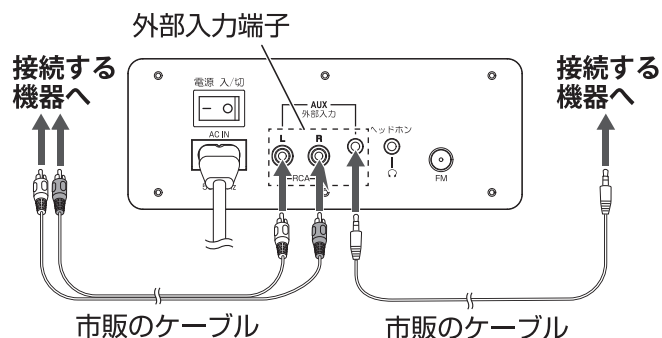
お持ちのΦ3.5mmのステレオケーブルまたはRCAピンケーブルをお使いいただけます。

※ Φ3.5mmのステレオケーブルおよびRCAピンケーブルは付属していません。市販のケーブルをお買い求めください。



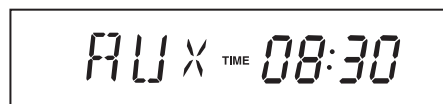
1. 本体の音量ツマミまたは、リモコンの【▼ 音量小】ボタンを押して、音量を最小にします。

2. 接続する機器の音声出力端子 (ヘッドホン端子やRCA出力端子など) を接続します。



※ Φ3.5mmステレオケーブルとRCAピンケーブルを同時に接続するとΦ3.5mmステレオケーブルからの音声が優先され、RCAピンケーブルからの音声は出力されません。

3. 本体の【USB/外部入力】ボタンを何度か押し、またはリモコンの【AUX】ボタンを押して、外部入力機能を選択します。



- 外部入力を選択されると、「AUX」が表示されます。

4. 接続している機器の再生をおこないます。

5. 本体の音量ツマミを回す、またはリモコンの【▲ 音量大】ボタン / 【▼ 音量小】ボタンを押して、聞きやすい音量にします。

●レコード取り扱い上 で注意

●レコード取り扱いについて

●レコードの持ち方

- レコードは、落とさないように注意してジャケットより内カバーと共に取り出してください。
- 内カバーよりレコードを取り出すときは、盤面の溝の部分には触れないように、レコードの端またはレーベル面のみに触れてレコードを取り出してください。この際にも、レコードを落とさないように注意してください
- レコードをターンテーブルに乗せるときは、レコードの端のみに触れて、そっと置いてください。



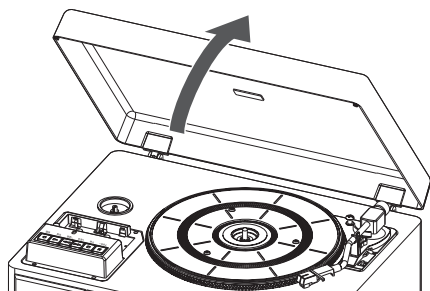
- レコードの表面を傷付けると、音飛びの原因になります。

●お手入れの方法

- 演奏の終わったレコードは、レコード専用のクリーナーを使って、ホコリを取ってから内カバーに戻し、更にジャケットに戻してください。
- レコード専用のクリーナーをお使いになる前には、クリーナーの説明書をよくお読みください。
- クリーナーは盤面の周方向に軽く押し当てるようにしてください。盤面の溝に対して垂直になるようには（CDのお手入れようには）拭かないでください。レコードの表面に傷付けて音飛びの原因になります。
- レコードは高温・多湿およびホコリの多い場所は避けて、保管してください。
- レコードは斜めにならないように保管してください。斜めに保管するとレコードが歪み、音質低下の原因になります。

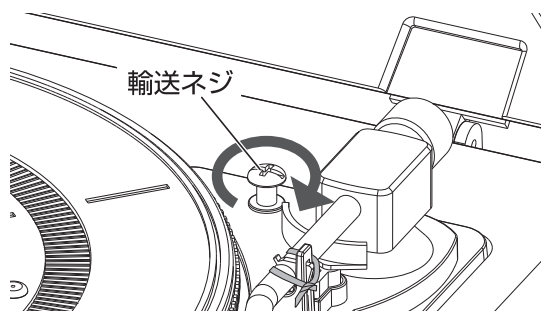
●レコードプレーヤーを使う前の準備

1. ダストカバーを開きます。



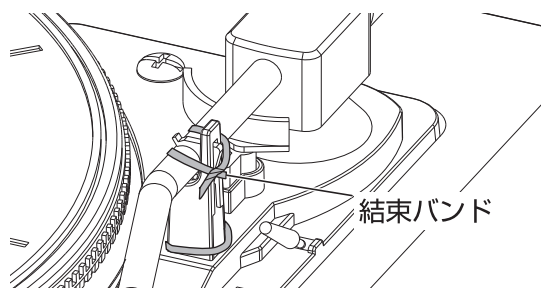
⚠ ※ダストカバーは約50°開きます。ダストカバーは無理に開けようとしないでください。

2. 輸送ネジが止まるまで、ネジを時計回り（右）に回します。

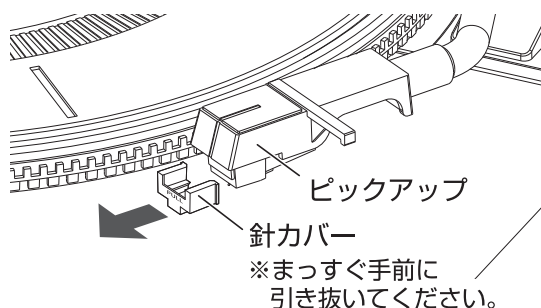


- 輸送ネジの詳細については、「各部の名前」レコードプレーヤー部の②輸送ネジ（P.7）をご覧ください。

3. トーンアームとアームレストを固定している結束バンドを取り外します。



4. トーンアームのピックアップから針カバーを取り外します。



⚠ ※下方向に力が加わると針が本体から外れたり、外れかけて小さい音しか出ないことがあります。このようなときは「レコード針の交換」（P.28）を参照して針を正しく取り付けてください。

5. 付属のドーナツ盤用アダプターをドーナツ盤用アダプターホルダーに取り付けます。

- 引っ越しなどで、本機を輸送するときは、下記のこの手順を行う前の状態に戻して輸送する事をお勧めします。
 - ・ネジを反時計回り（左）に回し切りネジを固定します。
 - ・トーンアームとアームレストを結束バンドで固定します。
 - ・トーンアームのピックアップに針カバーを取り付けます。

●レコードの聞き方

1. 本体の【CD/テープ/プレーヤー】ボタンを何度か押し、レコードプレーヤー機能を選択します。
またはリモコンの【PHONO】ボタンを押します。



- レコードプレーヤーが選択されると、「PH」が表示されます。



※レコードを演奏するには必ずレコードプレーヤー機能「PH」を選択してください。他の機能が選択されると、ターンテーブルが回転しません。

2. ダストカバーを開きます。

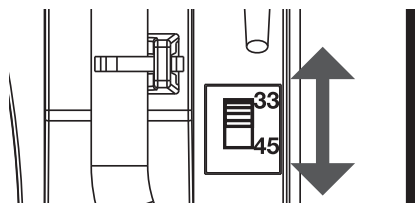


※ダストカバーは約50°開きます。ダストカバーは無理に開けようとしないでください。

3. ターンテーブルにレコードを乗せます。

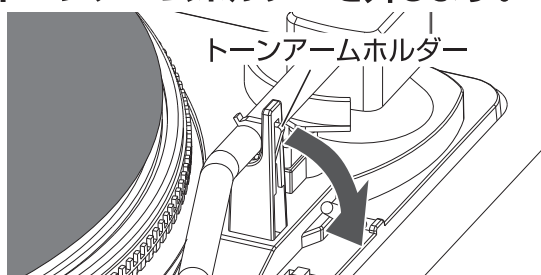
- ドーナツ盤を演奏するときは、ドーナツ盤用アダプターをお使いください。

4. 速度切替ツマミをレコードの回転数に合わせます。

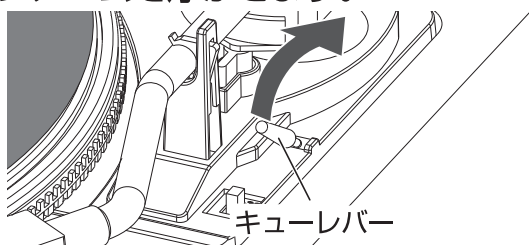


※SPレコード(78回転)には対応していません。

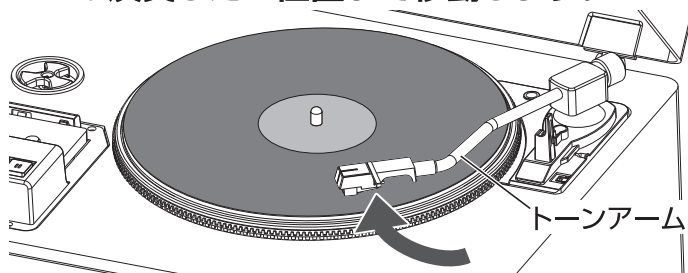
5. トーンアームホルダーを外します。



6. キューレバーを上げ(後ろ側に倒し)、トーンアームを浮かせます。



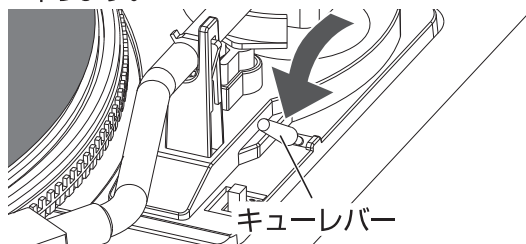
7. トーンアーム先端のレコード針をレコードの演奏したい位置まで移動します。



- トーンアームを持ち上げ、移動すると、ターンテーブルが回り始めます。

8. キューレバーを下げ(前側に倒し)ます。

- キューレバーを下げると、トーンアームがゆっくりと下ります。



9. 演奏が終わったら、自動でトーンアームがアームレストに戻り、ターンテーブルの回転が止まることを確認します。

- 直ぐに演奏を始めないときは、トーンアームホルダーでトーンアームを固定します。
- レコードによっては、自動でトーンアームがアームレストに戻らない場合があります。そのようなときは、トーンアームのレバー部分を持って、ゆっくりとアームレストに戻してください。



※フィルムレコードを演奏するときにレコードがスリップする場合は、ドーナツ盤用アダプターをフィルムレコードの上に乘せてください。

●レコード針の交換

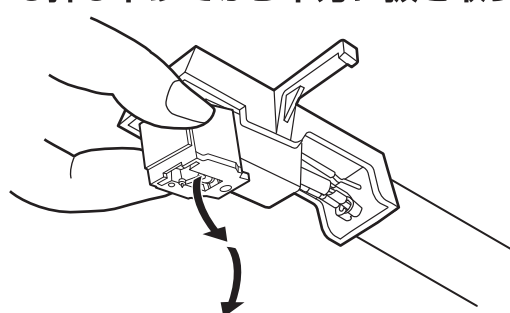
※レコード針は約400時間ほど使用しますと、音質が悪くなりレコードを痛めます。レコード針は早めに取り換えてください。



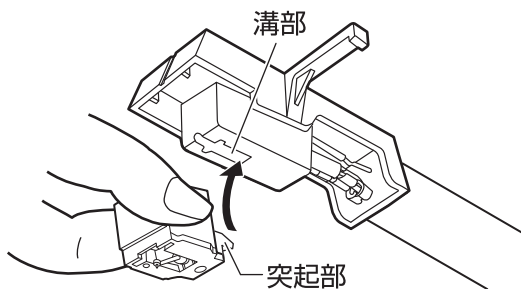
※レコード針はオーディオテクニカ社製の交換針ATN-3600Lをご使用ください。他のレコード針は使用しないでください。

※レコード針の詳しい交換方法は、交換針ATN-3600Lの説明書をご覧ください。

1. 針を取り外すときは、針ホルダーの先を少し押し下げてから下方に抜き取ります。

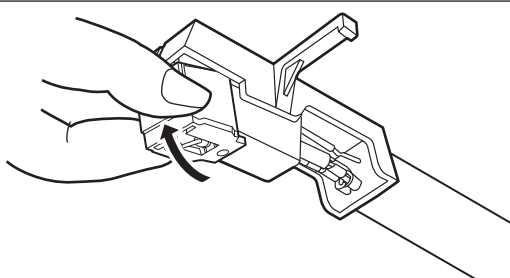


2. 針を取り付けるときは、針ホルダー後端の突起部をカートリッジ溝部後端に差し込みます。



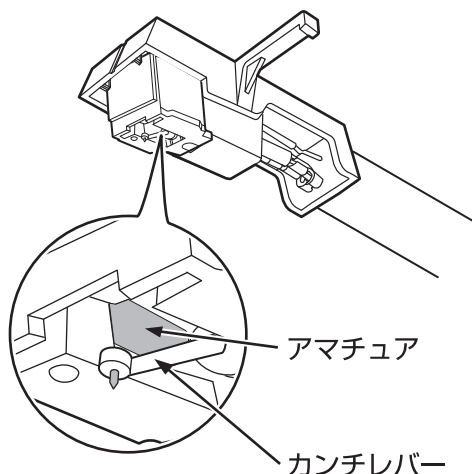
3. 先端を図のように矢印方向に「パチン」と音がするまで押し上げます。

※取り付け時には、針先やカンチレバー、アマチュアに不要な力を加えないようにご注意ください。



4. 取り付け後、針のカンチレバーがアマチュアの溝に正しく収まっていることを確認します。

※カンチレバーが正しい位置にないと、特性がいちじるしく悪くなりますので、ご注意ください。

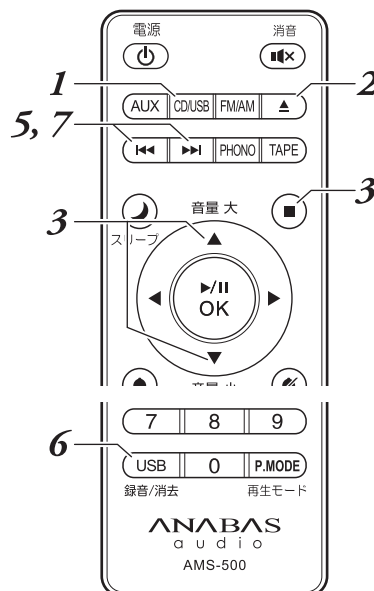
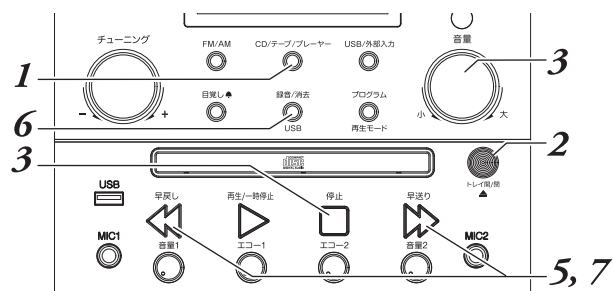


●USBメモリーに録音する

CD、ラジオ、カセットテープ、レコードプレーヤーまたは外部入力からUSBメモリーへ録音ができます。USBメモリーへの音量は自動で設定されます。

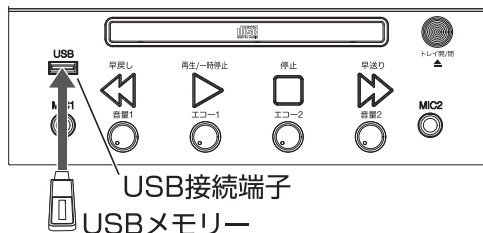
⚠ ※USBメモリーに録音をした際の日付の設定はできません。

●CDからの録音



1. 本体の【CD/テープ/プレーヤー】ボタンまたはリモコンの【CD/USB】ボタンを何度か押し、CD機能を選択します。
2. CDを挿入します。
●CDの自動再生が始まります。
3. 好みの音量に調節し、本体の【停止 ■】またはリモコンの【■】ボタンを押し、CDを停止します。
●CDの操作については、「CDを再生する」(P.16)を参照してください。

4. USBメモリーを本体に接続します。



5. CDの準備を行います。

1曲録音を行う場合：

本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押して聞きたい曲になるまで何回か押します。



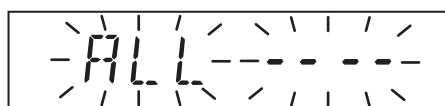
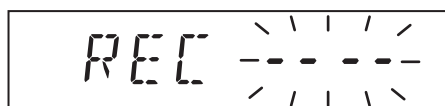
CDからの全曲録音を行う場合：

手順6.に進みます。

CDからのプログラム録音を行う場合：
録音したい曲の再生順をプログラムします。

6. 本体またはリモコンの【USB 録音/消去】ボタンを押します。

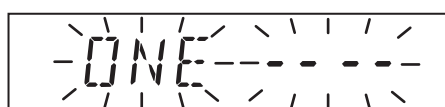
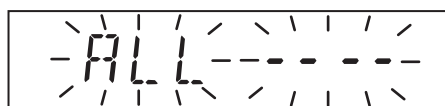
- 「REC」が表示し、その後「ALL ---」が点滅表示します。



7. CDからの録音を行います。

■CDからの1曲録音を行う場合：

「ALL ---」の表示が点滅中に、本体の【◀◀ 早戻し】 / 【▶▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押し、表示を「ONE」に変更します。



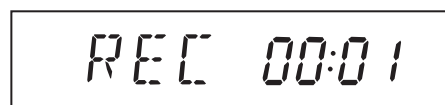
「REC」が表示されるまで待ちます。

- 「REC」が表示され、その後録音が始まります。
- 録音が始まると、「REC」と録音しているトラックが表示されます。その後再生時間とトラックが交互に表示されます。
- マイクを接続していると、マイクからの音声も同時に録音できます。

■CDからの全曲録音またはプログラム録音を行う場合は：

「REC」が表示されるまで待ちます。

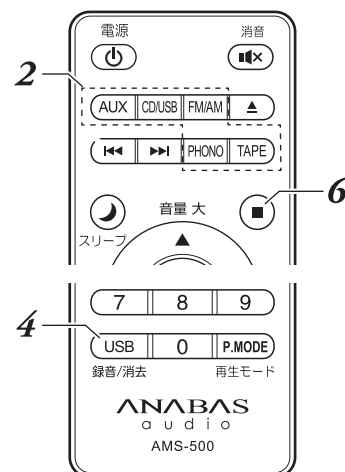
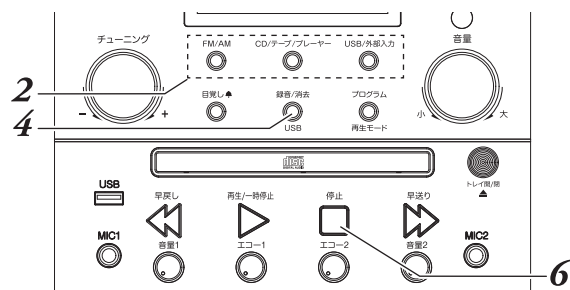
- 「REC」が表示され、その後録音が始まります。
- 録音が始まると、「REC」と録音しているトラックが表示されます。その後再生時間とトラックが交互に表示されます。



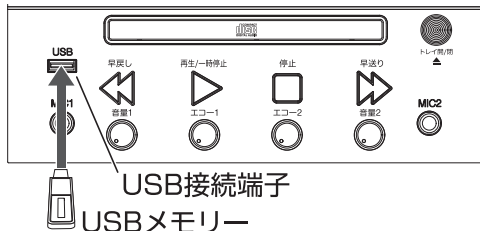
8. 録音が終了すると、「END」が表示されることを確認します。

- 録音は自動的に終了します。
- 録音を途中で停止するには、本体の【停止 ■】またはリモコンの【■】ボタンを押します。

●レコード、カセットテープ、AUX入力端子、ラジオからの録音



1. USBメモリーを本体に接続します。



2. 本体またはリモコンの機能ボタンを押し、録音元を選択します。

3. 録音元の準備をします。

■カセットテープから録音を行う場合：

カセットテープを本機に挿入し、再生できるように準備します。

- カセットテープの操作については、「カセットテープを再生する」(P.25)を参照してください。

■AUX入力端子から録音を行う場合：

AUX入力端子と録音元の機器を接続します。

- AUX入力端子の操作については、「外部入力端子の使い方」(P.26)を参照してください。

■ラジオの録音を行う場合：

録音したいラジオ局を受信します。

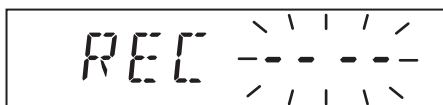
- ラジオの操作については、「FM/AM放送を聞く」(P.22)を参照してください。

■レコードの録音を行う場合：

録音したいレコードをターンテーブルに乗せます。

- レコードプレーヤーの操作については、「レコードの聞き方」(P.28)を参照してください。

4. 本体またはリモコンの【USB 録音/消去】ボタンを押します。



- 「REC」が表示します。

5. 「- - - -」表示が点滅中に、録音元の機器を操作します。

■カセットテープから録音を行う場合：

本体の【▶ (再生)】ボタンを押します。

■AUX入力端子から録音を行う場合：

AUX入力端子に接続されている機器を再生します。

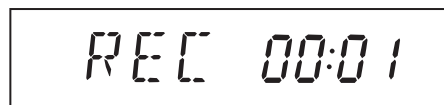
■ラジオから録音を行う場合：

「- - - -」が点滅表示から録音の経過時間になるまで待ちます。

■レコードの録音を行う場合：

録音したいレコードを演奏します。

- 「- - - -」が点滅表示から録音の経過時間になり、録音が始まります。



- マイクを接続していると、マイクからの音声も同時に録音できます。

6. 録音を終了するには、本体またはリモコンの【■】ボタンを押します。

- 「END」が表示され、録音が終了します。

●マイクからの音声も録音する

各機能で再生を音源として、接続したマイクの音声をUSBメモリーに録音できます。

1. マイクを本体のMIC1・MIC2の接続端子のどちらかまたは両方に接続します。

2. 音源とする機能の録音を開始します。

■CDを音源として録音する場合：

- 「CDからの録音」(P.29)を参照してください。

■レコード、カセットテープ、外部入力端子、ラジオを音源として録音する場合：

- 「レコード、カセットテープ、AUX入力端子、ラジオからの録音」(P.30)を参照してください。

3. マイクに向かって歌うまたはお話しをします。

4. 録音を終了するには、本体またはリモコンの【■】ボタンを押します。

- 「END」が表示され、録音が終了します。



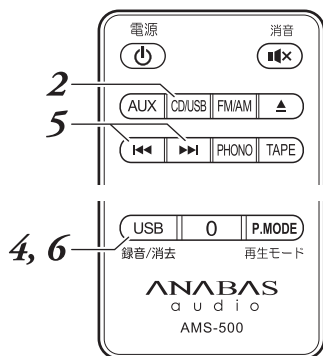
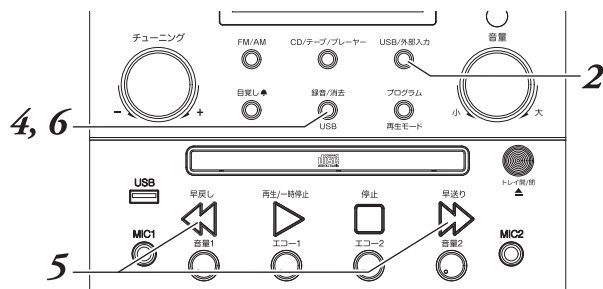
※カセットテープ、AUX入力端子、ラジオまたはレコードからの録音は、全て手動になります。カセットテープ、AUX入力端子、ラジオまたはレコードから録音したファイルを再生すると、実際の音声に比べてノイズが目立つ場合がありますが、本機の故障ではありませんのでご了承ください。

● USBメモリーから音楽ファイルを消去する

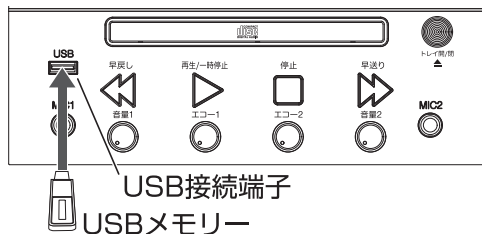


※消去した音楽ファイルを復活させることはできません。消去は十分に注意しておこなってください。

●再生中に音楽ファイルを消去する



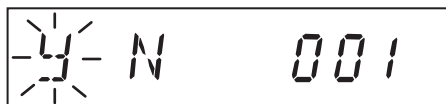
1. 消去したい音楽ファイルの入ったUSBメモリーを本体に接続します。



2. 本体の【USB/テープ/プレーヤー】またはリモコンの【CD/USB】ボタンを何回か押し、「USB」の表示にします。
3. 消去したい音楽ファイルを再生します。

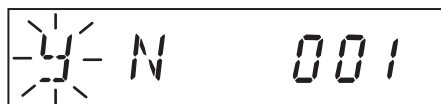


4. 消去したい音楽ファイルを再生中に、本体またはリモコンの【USB 録音/消去】ボタンを押します。



- 「Y」が点滅表示され、「N」が表示されます。

5. 音楽ファイルを消去するには、本体の【◀ 早戻し】 / 【▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押し「Y」を選択（点滅表示）します。



- 音楽ファイルを消去しない場合は、「N」を選択（点滅表示）します。

6. 本体またはリモコンの【USB 録音/消去】ボタンを押します。

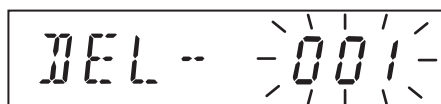
- 「Y」を選択した場合は、音楽ファイルを消去した後に通常表示に戻ります。
- 「N」を選択した場合は、音楽ファイルを消去しないで通常の表示に戻ります。

●停止中に音楽ファイルを消去する

1. 左欄の「再生中に音楽ファイルを消去する」の手順1.と2.をおこないUSBを選択します。

- 消去中は、フォルダを移動することができません。予め、リモコンの【◀】または【▶】ボタンを何回か押して、消したい曲のあるフォルダに移動してください。

2. 停止中に、本体またはリモコンの【USB 録音/消去】ボタンを長押しします。



- 曲番が点滅します。

3. 消去したい音楽ファイルの曲番を、本体の【◀ 早戻し】 / 【▶ 早送り】ボタンまたはリモコンの【◀◀】 / 【▶▶】ボタンを押して選択します。

4. 消去したい曲番が点滅している間に、本体またはリモコンの【USB 録音/消去】ボタンを押します。

- 「Y」が点滅表示され、「N」が表示されます。

5. 「Y」が点滅表示しているとき、本体またはリモコンの【USB 録音/消去】ボタンを押し、選択した曲番を削除します。

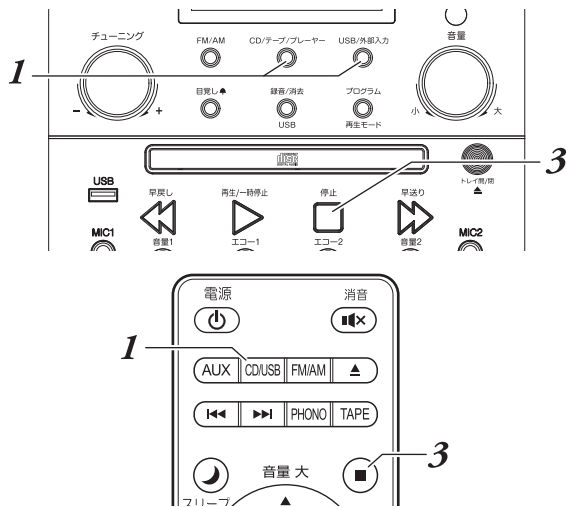


※誤消去防止のため、音楽ファイルを再生中に消去する方法をお勧めします。

● カセットテープに録音する

CD、USBメモリー、ラジオ、外部入力またはマイクからカセットテープへ録音ができます。カセットテープへの音量は自動で設定されます。

● CD/USBメモリーからの録音



1. 本体の【CD/テープ/プレーヤー】ボタンまたはリモコンの【CD/USB】ボタンを何度か押し、CD機能を選択します。または本体の【USB/外部入力】またはリモコンの【CD/USB】ボタンを何回か押し、USB機能を選択します。

2. CDまたはUSBメモリーを本体に挿入します。

- 挿入したメディアの自動再生が始まります。

3. 本体の【停止 ■】またはリモコンの【■】ボタンを押し、再生を停止します。

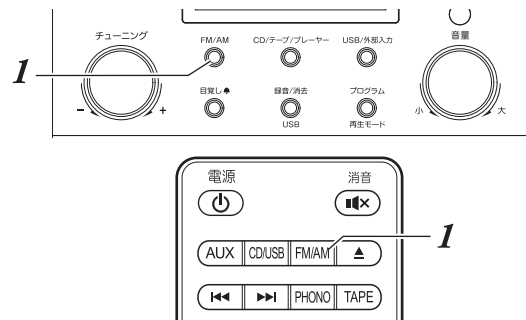
4. カセットテープの録音する面を上にして挿入します。

- 25 ページ、「カセットテープを再生する前の準備」手順3のカセットテープ挿入方法を参照してください。
- カセットテープは上部のツメが折れていないものをお使いください。

5. 本体カセットテープ部の【● (録音)] ボタンを押し、CDまたはUSBメモリーを再生します。

- 【● (録音)] ボタンを押すと、【▶ (再生)] ボタンも同時に下がります。
- 録音を一時停止するには、【|| (一時停止)] ボタンを押します。
- 録音を停止するには、【■ (停止)] ボタンを押します。
- 録音してテープが巻き取られると、【● (録音)] ボタンと【▶ (再生)] ボタンは元の位置に戻り、停止します。
- マイクを接続していると、マイクからの音声も同時に録音できます。

● ラジオからの録音



1. 本体またはリモコンの【FM/AM】ボタンを押します。

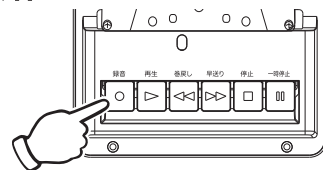
2. 録音したい局に合わせてます。

- 「FM/AM放送を聞く」(P.22) を参照してください。

3. カセットテープの録音する面を上にして挿入します。

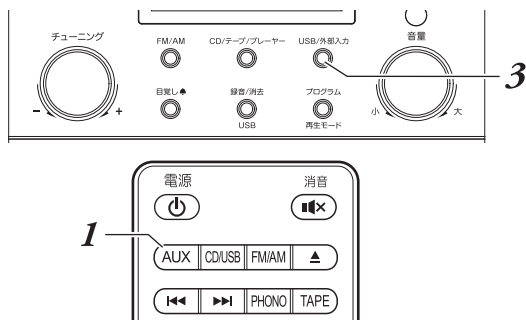
- 25 ページ、「カセットテープを再生する前の準備」手順3のカセットテープ挿入方法を参照してください。
- カセットテープは上部のツメが折れていないものをお使いください。

4. 本体の【● (録音)] ボタンを押し、録音を開始します。



- 【● (録音)] ボタンを押すと、【▶ (再生)] ボタンも同時に下がります。
- 録音を一時停止するには、【|| (一時停止)] ボタンを押します。
- 録音を停止するには、【■ (停止)] ボタンを押します。
- 録音してテープが巻き取られると、【● (録音)] ボタンと【▶ (再生)] ボタンは元の位置に戻り、停止します。
- マイクを接続していると、マイクからの音声も同時に録音できます。

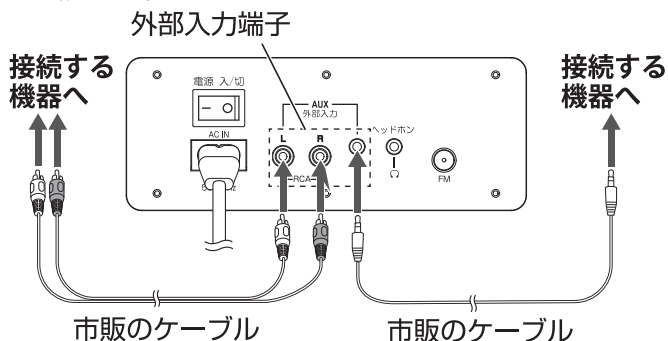
●外部入力からの録音



1. $\phi 3.5\text{mm}$ のステレオケーブルを再生したい機器に接続します。

2. AUX IN (外部入力) 端子にケーブルのもう一方の端を接続します。

※ $\phi 3.5\text{mm}$ のステレオケーブルおよびRCAピンケーブルは付属していません。市販のケーブルをお買い求めください。



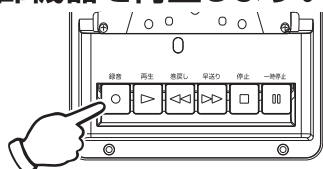
3. 本体の【USB/外部入力】ボタンを何度か押し、外部入力機能を選択します。またはリモコンの【AUX】ボタンを押し、外部入力機能を選択します。

4. カセットテープの録音する面を上にして挿入します。

● 25 ページ、「カセットテープを再生する前の準備」手順3のカセットテープ挿入方法を参照してください。

● カセットテープは上部のツメが折れていないものをお使いください。

5. 本体の【● (録音)】ボタンを押し、すぐに外部機器を再生します。



● 【● (録音)】ボタンを押すと、【▶ (再生)】ボタンも同時に下がります。

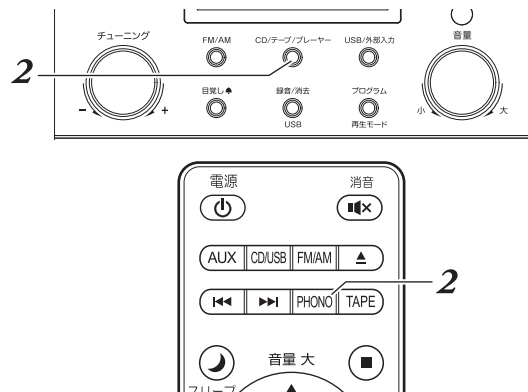
● 録音を一時停止するには、【|| (一時停止)】ボタンを押します。

● 録音を停止するには、【■ (停止)】ボタンを押します。

● 録音してテープが巻き取られると、【● (録音)】ボタンと【▶ (再生)】ボタンは元の位置に戻り、停止します。

● マイクを接続していると、マイクからの音声も同時に録音できます。

●レコードからの録音



1. 演奏したいレコードをターンテーブルの上に乗せます。

2. 本体の【CD/テープ/プレーヤー】ボタンを何度か押し、レコードプレーヤー機能を選択します。

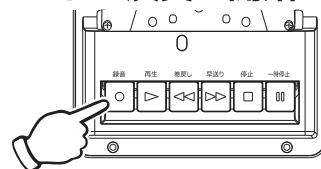
またはリモコンの【PHONO】ボタンを押します。

3. カセットテープの録音する面を上にして挿入します。

● 25 ページ、「カセットテープを再生する前の準備」手順3のカセットテープ挿入方法を参照してください。

● カセットテープは上部のツメが折れていないものをお使いください。

4. 本体の【● (録音)】ボタンを押し、すぐにレコードの演奏を開始します。



● 「レコードの聞き方」(P.28) を参照してください。

● 【● (録音)】ボタンを押すと、【▶ (再生)】ボタンも同時に下がります。

● 録音を一時停止するには、【|| (一時停止)】ボタンを押します。

● 録音を停止するには、【■ (停止)】ボタンを押します。

● 録音してテープが巻き取られると、【● (録音)】ボタンと【▶ (再生)】ボタンは元の位置に戻り、停止します。

● マイクを接続していると、マイクからの音声も同時に録音できます。

●マイクからの音声も録音する

各機能で再生を音源として、接続したマイクの音声をカセットテープに録音できます。

1. マイクを本体のMIC1・MIC2の接続端子のどちらかまたは両方に接続します。

2. 音源とする機能の録音を開始します。

■CDまたはUSBメモリーを音源として録音する場合：

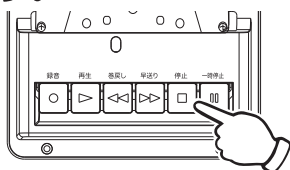
- 「CD/USBメモリーからの録音」(P.33) を参照してください。

■ラジオ、外部入力端子、レコードを音源として録音する場合：

- 「ラジオからの録音」(P.33) を参照してください。
- 「外部入力からの録音」(P.34) を参照してください。
- 「レコードからの録音」(P.34) を参照してください。

3. マイクに向かって歌うまたはお話しをします。

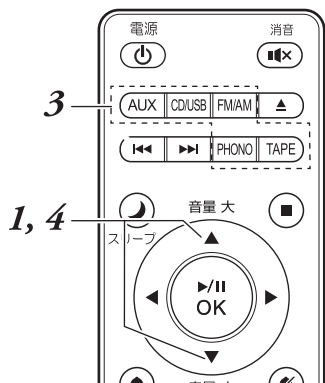
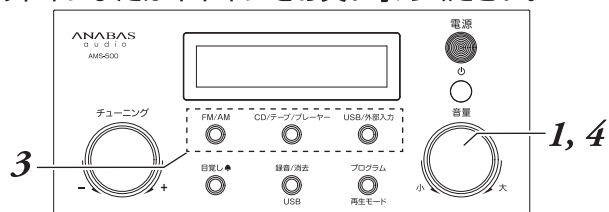
4. 録音を終了するには、【■(停止)】ボタンを押します。



●ヘッドホンの使い方

お持ちのφ3.5mmのステレオミニプラグのヘッドホンまたはイヤホンをお使いいただけます。

※ヘッドホンおよびイヤホンは付属していません。市販のヘッドホンまたはイヤホンをお買い求めください。



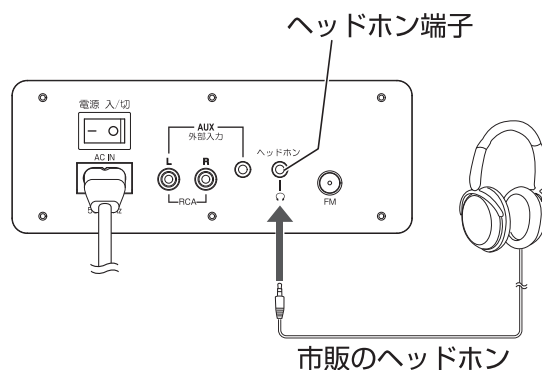
1. 本体の音量ツマミを反時計回りに回し音量を最小にします。

またはリモコンの【▼音量小】ボタンを押して、音量を最小にします。



※音量は徐々に上げてください。ヘッドホンまたはイヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

2. ヘッドホン端子にφ3.5mmのステレオミニプラグのヘッドホンまたはイヤホンを接続します。



- ヘッドホンまたはイヤホンが接続されると、スピーカーから音は出なくなります。

3. 本体の【FM/AM、CD/テープ/プレーヤー、USB/外部入力】ボタンを押して、再生したい機能を選択します。

またはリモコンの【機能切替 (AUX、CD/USB、AM/FM、PHONO、TAPE)】ボタンを押して、再生したい機能を選択します。

4. 本体の音量ツマミを回す、またはリモコンの【▲音量大】ボタン/【▼音量小】ボタンを押して、聞きやすい音量にします。

● お手入れ



※お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※電源プラグは絶対に水に浸けないでください。

● 本体のお手入れ

■本機表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。

■本機表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。

※メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。

※みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● 電源プラグのお手入れ

■乾いた柔らかい布で、から拭きします。

※みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● テープヘッドのお手入れ

■テープを再生または録音すると、次のような症状が出る場合があります。

音が悪い、前の音が残っている、きれいに録音できない、テープが巻きつく

■上記の症状はほとんどの場合、ヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキットまたはクリーニングテープをお買い求めのうえ、ヘッド部分を掃除してください。掃除はできるだけ早め(約10時間程度使用ごと)におこなってください。

● テープヘッドの掃除のしかた

①本体上面のカセットテープ部からカセットテープを取り出してください。

②市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、テープが触れる面を軽く拭いてください。

※カセットテープはアルコールが完全に乾いてから入れてください。

● 仕様

品名	マルチプレーヤー
型名	AMS-500
電源	100V ~ 50/60Hz
消費電力	30W (待機時 2.8W)
実用最大出力	18W (右チャンネル)、18W (左チャンネル)、
CD再生可能ディスク	音楽CD、CD-R、CD-RW
USB再生可能音楽データ	MP3、WMA (データ作成方法により再生されない場合があります) (*USB2.0対応) (*SDXC未対応)
CDプレーヤー	再生機能 *録音機能はありません
USBメモリー	再生・録音機能
ラジオ	ワイドFM対応 76.0 ~ 108.0MHz/ AM 522 ~ 1620kHz
カセット	再生・録音機能
レコードプレーヤー部	2スピードプレーヤー 33 1/3rpm、45rpm
	カートリッジ オーディオテクニカ社製 AT-3600LA
	使用針 オーディオテクニカ社製 ATN-3600L
	駆動方式 ベルトドライブ駆動方式
外形寸法	ターンテーブル 27cm
	約480 (幅) X401 (奥行き) X243 (高さ) mm (突起部含む)
質量	約8.6kg
リモコン用電池	単4形乾電池×2本 ※乾電池は別売り
付属品	ドーナツ盤用アダプター、電源コード、リモコン、FM室内アンテナ、 取扱説明書 (保証書付き: 本書)

※本機の外観および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは行っておりません。

● 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。

それでもなお異常があるときは使用を中止して、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
電源が入らない。	● 電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
電源が切れない。	● 本体またはリモコンの電源 (Ⓞ) ボタンを押すと電源待機状態になります。本機の電源を切るには、本機背面の主電源スイッチの切 (○) 側を押してください。ただし、主電源スイッチで電源を切ると、時計の設定は初期状態に戻ります。再度、設定をおこなってください。
表示が出ない。	● 電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
音声が聞こえない。	● 音量は適切に調節されていますか。音量を調節してください。 ● 受信周波数は合っていますか。早戻し (◀◀) または早送り (▶▶) ボタンを押してお聞きになりたい放送局に周波数を合わせてください。
スピーカーから音声が聞こえない。	● ヘッドホンまたはイヤホンがヘッドホン接続端子に接続されていませんか。ヘッドホンまたはイヤホンが接続されるとスピーカーから音声は出ません。
時刻表示が00:00に戻る。	● 主電源スイッチを押して電源を切りませんでしたか。主電源スイッチを押して電源を切ると初期状態に戻り、時刻は00:00に戻ります。
目覚しが設定できない。	● 時刻は設定されていますか。時刻が設定されていないと、目覚しを設定することはできません。
CDが再生されない。CD再生の音が飛ぶ。CD再生の音質が悪い。	● CDが正しく装着されているかご確認ください。CDが汚れている場合は、クリーニングするか、別のCDで試してみてください。 ● ピックアップレンズが汚れている場合は、クリーニングしてみてください。 ● 一時停止状態になっていないかご確認ください。
CDのトレイが開かない。	● CD以外の機能が選択されていませんか。CD以外の機能が選択されていると、本体の【▲トレイ開/閉】またはリモコンの【▲】ボタンを押しても、トレイは開きません。
USBメモリー内の音楽データが再生されない。	● USBメモリー内の音楽データをご確認ください。再生できる音楽データはMP3またはWMA形式の音楽データのみです。ただし、これらの音楽データでも、データの作成方法により、再生されないことがあります。
カセットテープが入らない。	● カセットテープの上下の向きは合っていますか。テープが上を向くように入れてください (P.25)。
テープが走行しない。	● カセットテープの不良ではありませんか。カセットテープを交換してみてください。 ● テープが薄い長時間テープを使用していませんか。90分以下のカセットテープをお使いください。
カセットテープ再生の音かとぎれる、音程がくるう、消去が不完全。	● テープヘッドが汚れていませんか。テープヘッドをお掃除してください (P.36)。 ● ハイポジションやメタルテープを使っていませんか。ノーマルテープをお使いください。
カセットテープの【●(録音)】ボタンが押せない。	● カセットテープのツメが折られていませんか。新しいカセットテープに交換するか、ツメが折られた部分をセロハンテープなどを貼ってください (P.26)。
ラジオの音質が悪い。	● 近くにパソコンなどの電子機器はありませんか。電子機器の影響でラジオの音質が悪くなることがあります。 ● FM室内アンテナは正しく接続されていますか。ラジオの受信状態が良くない場合は、FM室内アンテナの向きや位置を窓の近くに変えてください。 ● 本機の向きは正しいですか。AMアンテナは本機内に内蔵されています。AMラジオがよく受信できるように本機の向きを変えてください。
ターンテーブルが途中で止まる。	● レコードの演奏中に他の機能を選択しませんでしたか。レコードの演奏中に他の機能が選択されていると、ターンテーブルは停止します。機能をレコードプレーヤーに戻すと、止まった位置から演奏を再開します。ただし、演奏中にターンテーブルを止めると、レコードを傷めるおそれがありますので、演奏中には他の機能を選択しないでください。

症状	ご確認ください
レコード演奏の時、音がザラついたり、「チリチリ」という音がする。また高音部が澄んでいない。	● 針先にホコリがついていないか確認してください。針先のホコリは、柔らかいブラシか筆の穂先でそっと落としてください。 ● 針が正しく取り付けられているか確認してください。針は緩みの無いようにしっかりと取り付けてください。 ● レコードにホコリがついていないか確認してください。レコードについたホコリは、市販のレコードクリーナーまたは水を含ませたガーゼなどできれいに拭き取ってください。 ● レコードまたは針が痛んでいないか確認してください。針は新しいものと交換してください。
「ワーン」という音が出る。 (ハウリング現象)	● ハウリングは、スピーカーの振動がプレーヤーに伝わって起こる現象です。音量を下げる、またはセットの設置場所を変えてください。
マイクからの音声が聞こえない。	● マイクの音量は正しく設定されていますか。本体のマイク用音量ツマミ【音量 1】または【音量 2】を時計方向に回して、マイクの音量を調節してください。

● 保証とアフターサービス

● 保証書

- 保証書は、本書に添付されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などをご記入のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては下記のご連絡先までご相談ください。

● 部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際には、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

● 修理を依頼されるときは・・・持ち込み修理

- 「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、下記のご連絡先までご連絡ください。
- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

● 保証期間中は

- 保証書の規定に従って、弊社にて修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

● 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、下記のご連絡先までご相談ください。
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 消耗品のご注文は下記のご連絡先までご相談ください。

● アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、下記のご連絡先までお問い合わせください。

持ち込み先または送付先

株式会社太知ホールディングス
サービスセンター

〒110-0005

東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階
☎03-5846-7211

メールでのお問い合わせ

E-mail :
taichitky@anabas.co.jp

ホームページ :
<https://www.anabas.co.jp>

電話でのお問い合わせ

☎0120-027-329

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

● 個人情報の取り扱いについて

- 株式会社太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

● 補修修理の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技 術 料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検



このような
症状はあり
ませんか?

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体がいつもより異常に熱い。
- その他異常や故障がある。

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

● レコード針の交換について

- レコード針は約400時間ほど使用しますと、音質が悪くなりレコードを痛めます。レコード針は早めに取り換えてください。
- レコード針はオーディオテクニカ社製の交換針 ATN-3600L をご使用ください。他のレコード針は使用しないでください。
- レコード針の詳しい交換方法は、交換針 ATN-3600L の説明書をご覧ください。

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED
<https://www.anabas.co.jp>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号 秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先: 電話0120-027-329 FAX 03-5846-6639